

第V章 高校教師の同僚関係



学校は閉鎖的であるとよく言われる。物理的にも、一日中外部社会との接触がなく、狭い教室もしくは校内に、教師と生徒だけの生活を強いられる。長年このような環境での生活を強いられるとすれば、どんなおとなでも、社会人として独特のメンタリティを形成するようになるのは当然であろう。教師(職)の特殊性を指摘する声の背景には、教師が置かれたこうした現実離れをした環境的特質に対して、危惧の念から発せられるものも多い。

一方、教師社会の特性として、校長・教頭職を除けば、身分的には新採用教師も30年教師歴をもつ50歳代の教師も、等しく“先生”としてくくられてしまう。その点が、他の職場と様相を異にしている。それではいったい、高校教師の同僚関係には、どのような特質があるのだろうか。同僚関係を通して、教師社会の文化的特質の一端を考察することにした。

1. 仲のよい同僚

高校の教師は、小・中学校の教師と比較すると、それだけ教科の専門性が強く現れるせいか、教科の殻に閉じこもっているようなイメージで見られることがある。確かに理科や体育の教師の校内行動を観察すると、職員室にいるよりも、それぞれの研究室とか体育教官室にいる時のほうが多い。ときには、出勤時から帰宅するまで、職員室には一切顔をのぞかすこともなく、いうならば巣ごもり状態になる極端もある。こうなると、同じ学校に

一日いても、職員室で始終顔をつき合わせているような同僚関係から、全く交渉を断っていることになる。

そうした意味で、高校教師の同僚関係において、仲のよい同僚の有無を具体的にたずねた結果が表V-1である。9割の教師が同じ職場に仲のよい同僚をもっていて、その同僚のタイプは、①同性（68.7%）、②同年齢・同世代（64.8%）というのが3分の2を占めている。次に多いのは、③同一教科に属してい

表V-1 仲のよい同僚×性別、年齢、結婚

(%)

	全 体	性 別		年 齢						結 婚・家 族					
		男性	女性	30歳 以下	31~ 34歳	35~ 39歳	40~ 44歳	45~ 49歳	50歳 以上	未 婚		既婚・子なし		既婚・子あり	
										男性	女性	男性	女性	男性	女性
仲のよい同僚がいる	90.9	91.6	89.7	95.2	92.2	92.2	89.9	85.9	88.9	92.5	91.2	91.0	87.8	91.4	89.4
仲のよい同僚がない	7.7	7.6	8.3	4.5	6.5	7.0	8.9	11.0	10.7	7.1	7.4	7.4	9.8	7.7	8.5
仲 の よ い 同 僚 が い る 場 合	① 同性	68.7	67.7<73.1	77.7	72.2	68.8	66.4	61.4	60.0	78.5	74.2	70.3	72.2	64.0	72.4
	② 同年齢・同世代	64.8	64.4 66.5	76.2	69.3	69.2	49.3	60.7	55.0	72.2	67.7	71.2	69.4	60.8	64.6
	③ 同一教科	47.0	48.6 40.1	45.7	47.6	47.8	46.7	48.6	45.5	45.9	29.0	54.1	41.7	48.9	44.9
	④ 同一学年担当	35.4	35.2 36.6	43.0	46.7	36.2	29.6	25.7	24.0	44.5	35.5	44.1	38.9	30.7	36.2
	⑤ 趣味が同じ	30.4	33.4>17.6	26.6	29.2	32.1	30.9	32.9	32.5	29.2	21.0	35.1	13.9	34.7	16.5
	⑥ 同一分掌	22.2	23.9>15.0	21.9	24.1	23.2	24.3	19.3	19.5	21.5	14.5	32.4	13.9	23.4	15.7
	⑦ 独身	11.8	10.9<15.9	29.7	15.6	7.6	5.3	1.4	1.5	36.4	35.5	5.4	8.3	3.3	8.7
	⑧ 同じ出身大学	6.3	6.5 5.7	6.6	7.1	5.4	6.6	2.9	8.5	5.7	3.2	9.0	5.6	6.4	7.1

○ = 最大値

る仲間(47.0%)であり、さらには④同一学年を担当しているもの(35.4%)、⑤同じ趣味をもつもの(30.4%)などとなっている。

これを男性教師と女性教師で比べてみると、仲のよい同僚のいる割合はほぼ似ており、その相手の内訳についても共通した傾向が認められる。ただひとつ大きな違いをみせているのは、趣味の点で、男性教師のほうが女性教師よりも趣味を同じくすることでつながりやすいようである(男性教師33.4%>女性教師17.6%)。

次に、教師の年齢や結婚・子どもの有無などの個人状況でみると、まず、若いうちは同じ職場の中に仲のよい同僚をもつ割合はきわめて高いが、年齢の上昇とともに漸減していく傾向がある。特に、若い20歳代の教師は、同性かつ同年齢ないし同世代でまとまりやすい傾向を示している(約77%)。独身の男性教

師の場合は、なおさらである(78.5%)。その一方、30歳代前半の教師は、学校内でも中堅の立場に置かれるせいか、教科、分掌、学年にわたって幅広く、仲のよい同僚関係をつくる傾向がありそうだ。とりわけ、同じ学年を担当する先生同士との同僚意識は、他の年代の教師以上に高いようである(31~34歳46.7%>30歳以下43.0%>35~39歳36.2%)。

さらに、独身の教師のまとまりやすさは指摘したとおりであるが、既婚の教師は特に男性教師の場合、共通の趣味を通じて仲のよい同僚関係をもっているようである(35.1%)。一般に同世代の教師でも、子どもがいるとしないかで、同僚意識に程度の差が生じてくるのは、そのライフスタイルや生活感覚の微妙なズレによるものであろうか(同世代で未婚68~72%、既婚・子無69~71%>既婚・子有60~65%)。

2. 同僚間のつきあいと話題

それでは、同僚の教師とはいったいどんなことをすることが多いのであろうか。図V-1は、同僚教師とする行動や話題について11項目をあげて、3段階で評価してもらった結果を図で示したものである。図から明らかのように、一番行うことでしかも頻繁に行っていることは、「問題のある生徒のことに話す」(よくある47%+ときどきある49%=96%)ことである。よくできる生徒のこと以上に、やはり教師にとっては、問題のある生徒のほうがはるかに気がかりである様子がかがえる。この数値は、教師の本来の役割からすれば、きわめて当然のことと言ってよいであろう。

「よくあること」に注目して、以下にくる項目を順に追っていくと、②学校や教育のあり方について話す36.8%、③教科の内容や教育技術について話す32.7%、④部活動やその指導のことに話す23.8%、⑤よくできる

生徒のことに話す、個人的なことについて話すそれぞれ20.4%、20.3%、というように全体として、日々の教育に密着したことが話されているようである。仕事の同僚としての話が上位を占める結果になったのは、やはり仕事を離れてからもお酒を飲んだり、食事を共にするようなつきあいのパターンが、高校教師ではそう多くはないことを物語っている。

話題の内容についていえば、きわめてシリアスな教育問題や教育論が、日頃同僚との会話で話されていて、趣味やうわさなどのような軽薄な話題は控えられているようである。高校教師が示す、教員文化の体質的な一面であると言ってよからう。

一方、同僚教師とのつきあいの面で性差はどのような形で現れてくるのであろうか。高校では、まだ女性教師の占める割合が少数である現実を考慮しながら、図V-2をみ

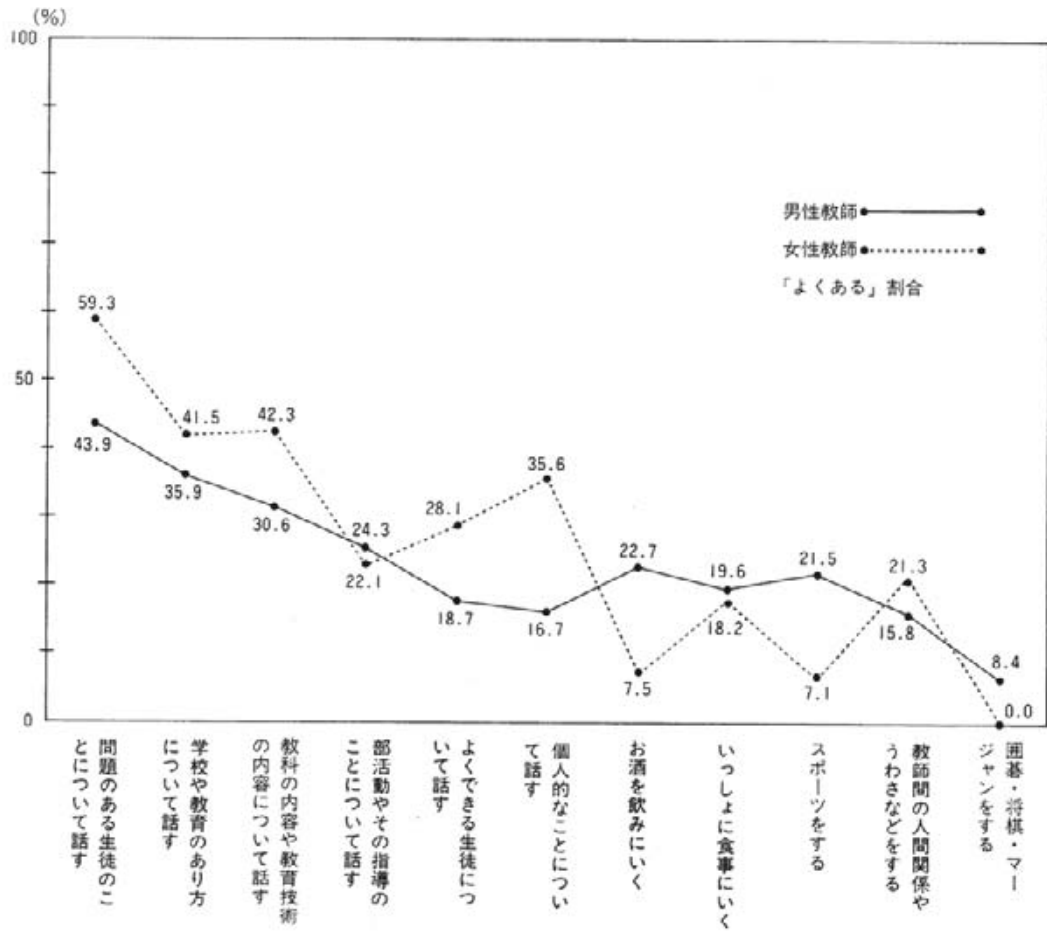
てほしい。この図に示された結果からは、女性教師のほうが男性教師よりもはるかに、教育に関する話題を日頃、同僚教師とよく話していることが明らかになっている。また、個人的なことについての、いわゆるうちあけ話なども、男性教師と比べるとかなり際立った高さを示している（女性教師35.6%>男性教師16.7%）。おそらくこの点は、職場に女性教師が少ないために、逆に女性同士で互いの悩みなどを男性教師以上に話し合う機会を多くもつようになってくるのかもしれない。

しかし、これまでみてきたデータからは、確かに教師として教育にかかわる問題を通してのつきあいが多いのはわかるし、やむを得ない一面もある。その一方で、こうしたつきあい方の広狭や深淺の差が、授業や生徒理解などの面にどうかかわってくるかが気になるところである。高校教師が自分の専門領域にのみ内向し、外に目を向けなくなるとすれば、問題が残る。教師としての幅を広げることが、生徒にもさまざまな形で好影響を与えるのではないかと考えられるからである。

図V-1 同僚教師とのつきあい

	よくある		ときどきある		(%) ほとんど ない
1. 問題のある生徒のことについて話す	46.7		48.5		4.8
2. 学校や教育のあり方について話す	36.8		54.9		8.3
3. 教科の内容や教育技術について話す	32.7		56.0		11.3
4. 部活動やその指導のことについて話す	23.8		49.7		26.5
5. よくできる生徒のことについて話す	20.4		59.1		20.5
6. 個人的なこと（結婚、家庭、子ども、住宅など）について話す	20.3		58.1		21.6
7. お酒を飲みに行く	19.6		52.0		28.4
8. いっしょに食事に行く	19.2		57.7		23.1
9. スポーツをする	18.6		43.5		37.9
10. 教師間の人間関係やうわさなどについて話す	16.8		53.1		30.1
11. 囲碁、将棋、マージャンをする	6.8	16.0	77.2		

図 V-2 同僚教師とのつきあい×性別



第Ⅵ章 高校教師の日常行動と悩み



1. 教師の日常行動と考え方

(1) その積極的、肯定的態度

高校教師の日頃の行動や教育などに対する考え方は、どのようになっているのだろうか？高校教師に、学校内外における日頃の行動や考え方についてきいてみると、それは表Ⅵ-1のようになる。表に示されるように、教師たちのなかで「生徒といっしょにいると楽しい」者は8割(79.8%)、そして「学校にいるときは生き生きする」者も7割(71.0%)に達している。また「自分の教えている学校に誇りを持っている」者(66.5%)、「家庭に、学校の仕事を持ちこむ(「家庭には、学校の仕事を持ちこまない」に「いいえ」と回答)者

(65.2%)が6割台、「教え子の結婚式やクラス会によく出席する」者(54.4%)、「学校の中で引き受け手のない係や顧問でも引き受ける」者(53.4%)が5割台になっている。

このように本調査における高校教師の日常行動と考え方は、かなり積極的、肯定的な回答がみられる。ただし学校を離れた地域などとの関係については、「地域の青少年活動やボランティア活動に積極的に参加する」が1割台(12.9%)となっており、あまり積極的な姿勢はみられなかった。

次にこれを基本的な属性別にみると、性別では女性に「生徒といっしょにいると楽しい」(男性78.5%<女性86.6%)、「学校にいるとき

は生き生きする」(男性69.6%<女性77.9%)が多く、男性に「教え子の結婚式やクラス会によく出席する」(男性58.5%>女性37.9%)、「学校の中で引き受け手のない係や顧問でも引き受ける」(男性56.4%>女性42.3%)、「定年後もできるだけ教育関係の仕事に

たずさわっていききたい」(男性42.5%>女性29.2%)、「定年までには管理職につきたいと思っている」(男性17.6%>女性2.8%)が多かった。このようにどちらかというと、女性教師は現在において、「楽しい」「生き生きする」ことに積極的なのに対し、男性教師は定年後

表VI-1 日頃の行動や考え方

(%)

	全 体	性 別		高 校 格 差 (4年制大学進学率)			
		男 性	女 性	30%以下	30~59%	60~89%	90%以上
1. 生徒といっしょにいると楽しい	79.8	78.5 <	86.6	76.9 <	84.8	86.0	83.7
2. 学校にいるときは生き生きする	71.0	69.6 <	77.9	66.4 <	77.0	79.5	79.3
3. 自分の教えている学校に誇りを持っている	66.5	67.1	65.2	58.5 <	73.6 <	81.3	85.2
4. 家庭に、学校の仕事を持ちこむ (「家庭には、学校の仕事を持ちこまない」に「いいえ」と答えた者)	65.2	64.3	69.6	36.2	34.3	29.2	28.1
5. 教育関係以外の趣味や習いごとをしている	63.1	63.9	61.3	63.0	62.4	63.2	65.9
6. 教え子の結婚式やクラス会によく出席する	54.4	58.5 >	37.9	52.6	57.3	57.3	60.7
7. 学校の中で引き受け手のない係や顧問でも引き受ける	53.4	56.4 >	42.3	54.2	55.6	52.0	51.9
8. 外部の研究グループや研修に積極的に参加する	45.6	45.3	47.4	44.9	43.3	49.1	48.9
9. 定年後もできるだけ教育関係の仕事にたずさわっていききたい	39.8	42.5 >	29.2	37.7	46.1	42.1	44.4
10. 定年後、収入が得られる特技や技術をもっている	21.8	21.2	24.5	22.8	21.3	18.7	22.2
11. 定年までには管理職につきたいと思っている	14.6	17.6 >	2.8	14.9	16.3	16.4	9.6
12. 地域の青少年活動やボランティア活動に積極的に参加する	12.9	13.5	10.7	13.7	12.9	11.1	11.9

「はい」の割合

などの将来に対して積極的な傾向がみられた。

また年齢別では、「自分の教えている学校に誇りを持っている」「家庭に、学校の仕事を持ちこむ」「教え子の結婚式やクラス会によく出席する」「学校の中で引き受け手のない係や顧問でも引き受ける」「外部の研究グループや研修に積極的に参加する」「定年後もできるだけ教育関係の仕事にたずさわっていきたい」「定年後、収入が得られる特技や技術をもっている」がほぼ年齢とともに増加する傾向がみられた。このように高校教師は年齢とともに、さらに積極的、肯定的な傾向が増すようであった。

そして高校格差別では、進学率が上昇するとともに「生徒といっしょにいると楽しい」「学校にいるときは生き生きする」「自分の教えている学校に誇りを持っている」などがだいたい増加する傾向がみられた。このように高校教師においては進学率が上昇するとともに、学校への肯定的な態度が増すようであった。

(2) どのような教師が生き生きするか？

それでは次に「学校にいるときは生き生きする」について、数量化2類をつかって、特にどのような教師が生き生きしているかについて調べてみることにしたい。数量化2類はさまざまな(定性的な)回答パターンに対し、それに影響を与えた要因を分析する方法である。

数量化2類をもちい、「学校にいるときは生き生きする」に対し、「はい」と答えたか(プラス方向)、「いいえ」と答えたか(マイナス方向)についてそれぞれ影響を与えた要因をみると、それは図VI-1のようになる。〔()内の数値は偏相関係数で、それぞれのカテゴリーの影響力の強さを示す。それによれば、

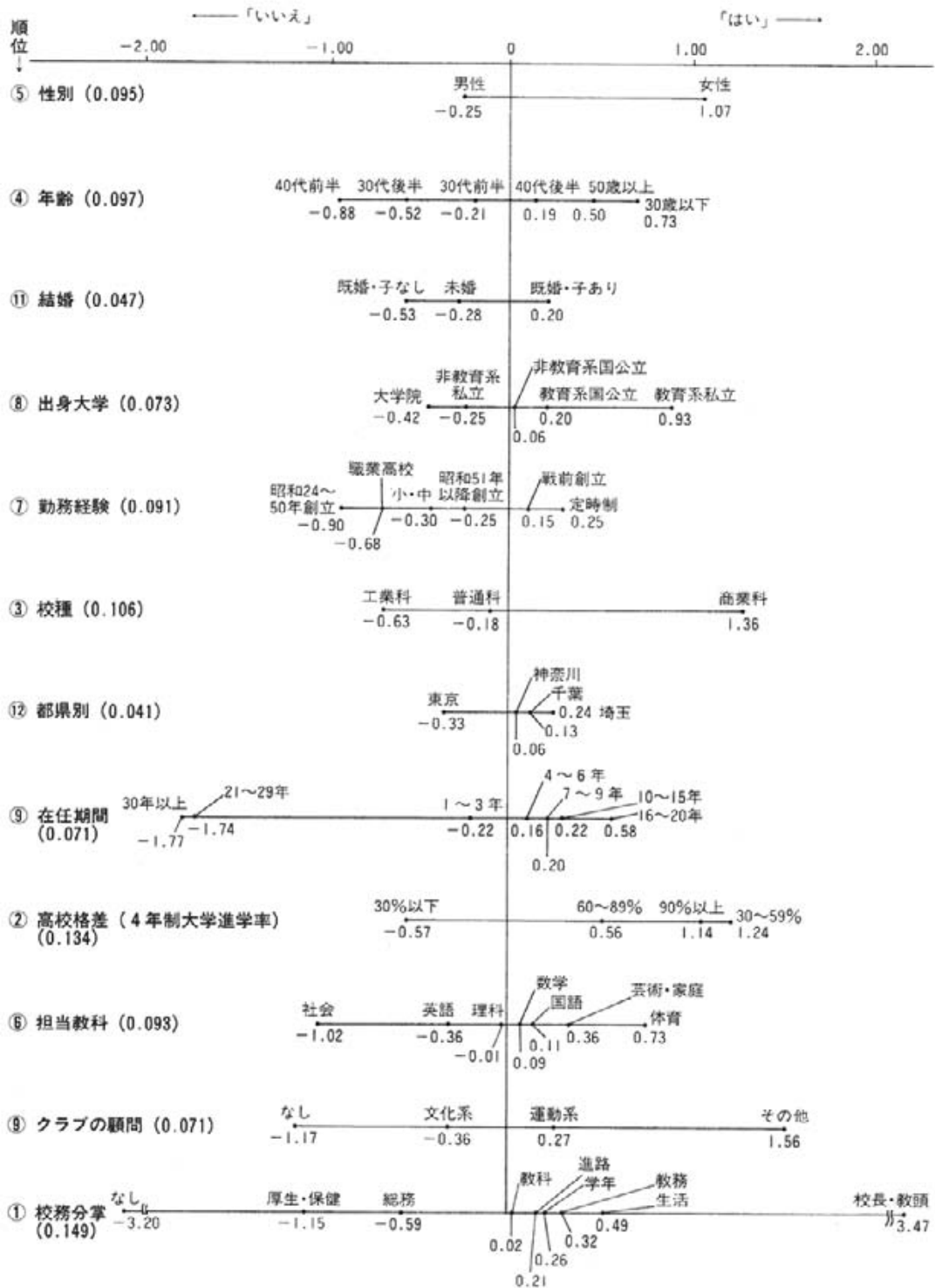
①校務分掌、②高校格差、③校種、④年齢、⑤性別の順で「学校にいるときは生き生きする」に影響を与えている。〕

図に示されるように「学校にいるときは生き生きする」教師は、女性で、30歳以下か40代後半以上、既婚で子持ち、教育系大学か非教育系の国公立大学出身、戦前創立の高校か定時制高校の勤務歴を持つ、商業科の教師、となっている。また現在の勤務校は埼玉、千葉、神奈川にあり、4～20年勤め、進学率は高く、体育、芸術・家庭、国語、数学などを教え、運動系やその他のクラブの顧問をし、校長・教頭などの役職を持つ教師、となっている。

そしてそれに対して「学校にいるときは生き生きしない」教師は、男性で、30代前半～40代前半、未婚か、既婚で子どもがなく、大学院か非教育系の私立大学出身で、小・中学校や職業高校、戦後創立の高校での勤務歴を持つ、工業科か普通科の教師、となっている。また現在の勤務校は東京にあり、3年以下か21年以上勤め、進学率は低く、社会、英語、理科を教え、顧問はなしか文化系のクラブを持ち、役職もなしか厚生・保健、総務をしている教師、となっている。

このように「学校にいるときは生き生きする」かしないかについては、先にみた性別や高校格差以外にもさまざまな要因が影響しており、特に年齢については30代前半から40代前半にかけて一時「生き生きしない」時期があり、また赴任期間についても最初の3年間と20年を越えた時に、「生き生きしない」時期が訪れるようであった。またクラブの顧問や役職については、どちらかというと、していたほうが「学校にいるときは生き生きする」ようであった。

図VI-1 「学校にいるときは生き生きする」



2. 教師の悩み

(1) 忙しさという悩み

それでは次に、高校教師の悩みについて調査することにした。高校教師に、さまざまな悩みを感じているかについて質問すると、それは表VI-2のようになる。表に示されるように高校教師の悩みは「雑用が多すぎる」が7割台(74.2%)で最も多く、次いで「研修の機会が少ない」が6割台(62.3%)となっている。また「生徒の考えや行動について

いけない」(39.3%)、「生徒の学力レベルが低く教えがいがない」(35.3%)は3割台であった。

このように高校教師にとって一番の悩みは、「雑用」、「研修の機会」などの、忙しさに関するものようであった。また6年前(「高校教師の教育観とライフサイクル」モノグラフ・高校生'83 vol.10)と比較すると、「生徒の考えや行動についていけない」(前回44.4%>今回39.3%)、「自信をもって生徒の進路指導がで

表VI-2 教師の悩み

	全 体	性 別		高 校 格 差 (4年制大学進学率)			
		男 性	女 性	30%以下	30~59%	60~89%	90%以上
1. 雑用が多すぎる	74.2	73.5	78.3	76.7	72.5	70.8	68.9
2. 研修の機会が少ない	62.3	59.5	64.7	64.3	60.7	59.1	57.8
3. 生徒の考えや行動についていけない	39.3	39.3	39.6	45.9	31.5	26.3	29.6
4. 生徒の学力レベルが低く教えがいがない	35.3	35.8	34.0	49.4	19.1	13.3	5.2
5. 自分の専門的な力量に自信がない	25.8	22.4	40.3	30.6	18.5	19.8	15.5
6. クラブ活動の指導が負担になっている	22.8	21.9	27.2	24.3	20.3	23.4	19.3
7. 自信をもって生徒の進路指導ができない	18.3	16.5	26.5	21.2	10.7	16.4	15.5
8. 生徒が騒々しくて、授業を中断させられる	16.0	14.9	21.0	23.9	5.6	3.5	1.5
9. 教師という職業が自分に向いていない	15.8	13.7	24.2	28.0	13.9	13.5	8.1
10. 保護者と連絡をとったりするのが苦痛である	11.1	10.3	14.2	13.2	6.2	8.8	8.9
11. 校務分掌の仕事がうまくこなせない	8.5	8.4	9.1	9.7	7.9	7.0	4.4

「とても・かなり感じている」の割合

きない」(前回24.1%>今回18.3%)などの悩みは減少する傾向がみられるが、「生徒の学力レベルが低く教えがいがない」(前回30.5%<今回35.3%)、「自分の専門的な力量に自信がない」(前回21.7%<今回25.8%)、「生徒が騒々しくて、授業を中断させられる」(前回11.0%<今回16.0%)などは増加する傾向がみられた。

次にこれらを基本的な属性別にみると、性別では女性に、「研修の機会が少ない」(男性59.5%<女性74.7%)、「自分の専門的な力量に自信がない」(男性22.4%<女性40.3%)、「クラブ活動の指導が負担になっている」(男性21.9%<女性27.2%)、「自信をもって生徒の進路指導ができない」(男性16.5%<女性26.5%)、「生徒が騒々しくて、授業を中断させられる」(男性14.9%<女性21.0%)、「教師という職業が自分に向いていない」(男性13.7%<女性24.2%)などの悩みがみられた。このように、どちらかというとな女性教師に、悩みが多いようであった。

次に年齢別では、ほぼ年齢とともに、「研修の機会が少ない」「自分の専門的な力量に自信がない」「保護者と連絡をとったりするのが苦痛である」「クラブ活動の指導が負担になっている」「自信をもって生徒の進路指導ができない」「校務分掌の仕事がうまくこなせない」「教師という職業が自分に向いていない」が減少するが、「生徒の考えや行動についていけない」「生徒の学力レベルが低く教えがいがない」という悩みは増加する傾向がみられた。このように高校教師は、年齢とともに基本的には悩みが減少していくが、生徒に対して考えや行動の開きや、学力に対する不満も感じていくようであった。

そして高校格差別では、ほぼ進学率が上昇するほど、「雑用が多すぎる」「生徒の考えや行動についていけない」「生徒の学力レベルが低く教えがいがない」「自分の専門的な力量に自信がない」「自信をもって生徒の進路指導ができない」「生徒が騒々しくて、授業を中断させられる」「教師という職業が自分に向いて

いない」という悩みが減少する傾向がみられた。このように進学率が上昇するほど、高校教師の悩みは基本的に減少していくようであった。

(2) 忙しさという悩みと他の要因との関係

高校教師の悩みベスト2は、「雑用が多すぎる」と「研修の機会が少ない」であった。これらの悩みを持つ者についてさらに調査すると、「雑用が多すぎる」という悩みを持つ者は、担任を持ち(担任あり80.6%>担任なし69.2%)、クラブの顧問をし(顧問あり74.8%>顧問なし57.1%)、学内で係や役職を持つ者(役職あり75.1%>役職なし61.2%)が多かった。また具体的な行動としては、「生徒から個人的な相談を受ける」「自分のほうから生徒に声をかける」「生徒と廊下や職員室で(立ち)話をする」「生徒といっしょに掃除をする」などをし、「バイク・オートバイの乗車について指導、注意する」「欠席した生徒に電話する」「問題をおこした生徒の家庭を訪問する」者が多かった。また退勤時刻も遅く、家庭に学校の仕事を持ちこみ、帰宅後も教材研究・事務処理などをおこなっている者が多かった。

また「研修の機会が少ない」という悩みを持つ者も、担任を持ち(担任あり65.7%>担任なし60.0%)、クラブの顧問をしている者(顧問あり62.7%>顧問なし53.6%)に多かった。また具体的な行動としても、「自分のほうから生徒に声をかける」「生徒と廊下や職員室で(立ち)話をする」「生徒といっしょに掃除をする」などを行い、「欠席した生徒に電話する」「問題をおこした生徒の家庭を訪問する」そして「手作りの資料を使った授業をする」者に多かった。また退勤時刻も遅く、帰宅後も教材研究・事務処理などを行い、さらに「外部の研究グループや研修に積極的に参加する」者に多かった。

このように「雑用が多すぎる」「研修の機会が少ない」という悩みを持つ教師は実際にかなり忙しい日常を送っているようであり、悩みを持ちつつも、積極的に生徒と接したり、

研修に参加したりしているようであった。

また「雑用が多すぎる」「研修の機会が少ない」という悩みとその他の悩みとの関係を調べると、これらの悩みは他のすべての悩みと関連していた。このように忙しさという悩みはそれだけで独立しておらず、他の悩みとも深く関連しているようであった。

(3) 生徒の考えや行動についていけない教師とは？

それでは最後に「生徒の考えや行動についていけない」という悩みについて、数量化2類をつかって、どのような教師が生徒の考えや行動についていけないか調べてみることにしたい。

数量化2類をもちい、「生徒の考えや行動についていけない」という悩みについて、「感じる」か（プラス方向）、「感じない」か（マイナス方向）についてそれぞれ影響を与えた要因をみると、それは図VI-2のようになる。（偏相関係数によれば、①高校格差、②年齢、③都県、④校種、⑤校務分掌の順で「生徒についていけない」に影響を与えている。）

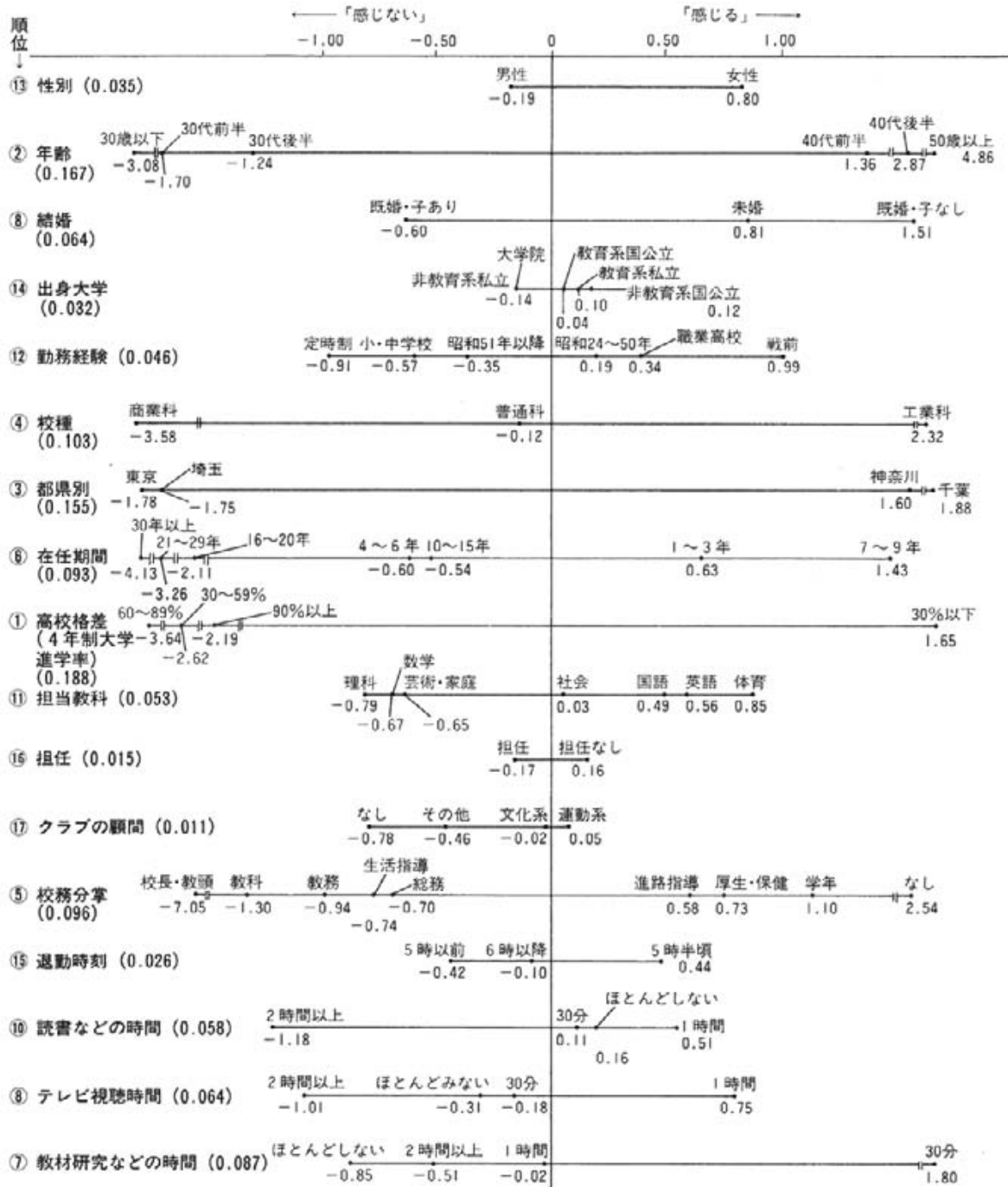
図に示されるように、「生徒の考えや行動についていけない」という悩みを「感じる」教師は、女性で、40代前半以上、未婚か、既婚でも子供はなく、教育系大学か非教育系の国公立大学出身、昭和50年以前創立の高校か職業高校の勤務歴を持つ、工業科の教師、となっている。また現在の勤務校は千葉か神奈川にあり、3年以下か7～9年勤め、4年制大学進学率は低く、体育、英語、国語、社会を

教え、担任はなく、運動系クラブの顧問をし、役職はなしか、学年、厚生・保健、進路指導をしている教師、となっている。そして生活においては、5時半頃退勤し、新聞や本は1時間以内しか読まず、テレビ視聴は1時間、教材研究などは30分ぐらいとなっている。

また逆に「生徒の考えや行動についていけない」という悩みを「感じない」教師は、男性で、30代後半以下、既婚で子どもがあり、非教育系私立大学か大学院出身、昭和51年以降創立の高校か定時制、小・中学校での勤務歴を持つ、商業科か普通科の教師、となっている。また現在の勤務校は東京か埼玉にあり4～6年か10年以上勤め、4年制大学進学率は高く、理科、数学、芸術・家庭を教え、担任を持ち、クラブの顧問はなしか文化系その他を持ち、校長・教頭などの役職を持つ教師、となっている。そして生活においては、5時以前か6時以降に退勤し、新聞や本は2時間以上読み、テレビ視聴は30分以下か2時間以上、そして教材研究はほとんどしないか1時間以上する教師、となっている。

このように「生徒の考えや行動についていけない」という悩みについても、先にみた年齢や学校ランク以外のさまざまな要因が影響を与えている。そしてこれらのプロフィールを6年前と比較すると、年齢、高校格差、読書時間、校務分掌などの点であまり大きな変化はみられず、基本的に高年齢で非進学校、読書時間は少なく、役職についていない教師に「生徒の考えや行動についていけない」と感じる者が多かった。

図VI-2 「生徒の考えや行動についていけない」という悩み



第Ⅶ章 高校教師の指導タイプによる類型化



これまでの章で、首都圏の教師の授業スタイル、生徒観、同僚関係、日常行動、悩みなどを個別に分析してきた。本章では、それをまとめる意味で、指導（教科指導、生活指導、教師-生徒関係など）に関する質問をピックアップして、総合的な視点から、教師の類型化（タイプ分け）を試みよう。

前回のモノグラフ高校生'83 vol.10の高校教師調査でも、教師の類型化を行い、4つ

の教師タイプ、つまり「モラトリアム教師」（人間志向強い、自信・自負なし）、「スランプ教師」（人間志向弱い、自信・自負なし）、「遠視教師」（人間志向弱い、自信・自負あり）、「円熟教師」（人間志向強い、自信・自負あり）を見いだした。

今回は、指導に関する質問のみを取り出したので、前回より限定された領域による教師タイプの分類となる。

1. 教師の指導による分類

今回の教師のタイプ分けは教師の指導に関する質問を使用した。

つまり質問①（授業中にすること、6項目）、質問⑦（対生徒関係、5項目）、質問⑩（教科、生活指導7項目）、質問⑬（日頃の行動、2項目）である。

それぞれの回答を、どちらかに偏らないような形で2分して、数量化Ⅲ類にかけた（基本的には、1とそれ以外の回答という2分類であるが、それ以外に1+2としたものは、①-B、D、E、F、⑩-A、G~J、H・2+3としたものは⑩B、Gである）。

数量化Ⅲ類は、質問間の相互関連を、回答の傾向から明らかにし、同時に回答者を類型化するのにふさわしい方法である。

まず最初に、教師の教育指導を仕分けるのに最も有効な軸として、第Ⅰ軸が出てくる（表Ⅶ-1）。第Ⅰ軸のマイナス方向は、「校内を巡視する」「バイクについて指導、注意する」「生徒の家庭を訪問する」「最近のニュースを生徒たちに話す」「生徒に声をかける」「欠席した生徒に電話する」「生徒と立ち話をする」「授業中よくできた生徒をほめる」など、生徒へのあらゆる指導に熱心なタイプである。生活指導に熱心なのはもちろんのこととして、授業でも生徒の興味を引くように工夫をこらす。最近のニュースや生徒に人気のあるマンガや音楽、自分の失敗談を織り込んだりする授業を展開する。これは、教育指導に熱心な傾向で、「積極的指導」と名付ける。

それに対してⅠ軸のプラス方向は、「生徒といっしょにいて楽しくない」「自分の失敗談を生徒に話さない」「子どもの頃のことを生徒たちに話さない」「学校にいるときは生き生きしない」「生徒に声をかけない」「欠席した生徒

に電話しない」「生徒と立ち話をしない」など、生徒や学校があまり好きではなく、生徒に話しかけたり、授業中にわき道にそれたりすることはなく、生徒への指導を最少限にする、教育指導に消極的な傾向である。「消極的指導」と名付ける。以上のようにⅠ軸は、教師の指導への熱意や積極性を仕分けるもので、「積極的指導」と「消極的指導」の分化である。

Ⅰ軸に次いで、教師の指導の傾向を仕分けるのに有効なものとしてⅡ軸が出てくる。表Ⅶ-2に示されているように、Ⅱ軸のマイナス方向は、「最近のニュースを生徒たちに話す」「小テストをしない」「宿題を出さない」「教科書にそって授業しない」「マンガや音楽について話題にする」「ノートのとり方を指導しない」「生徒をしからない」などのように、生徒の喜びそうな指導の形態をとり、生徒との距離を近くとうとする傾向である。教師であるより生徒と友だちであろうとする。「生徒との距離小」（友だち感覚）と名付ける。

それに対して、Ⅱ軸のプラス方向は「子どもの頃のことなど生徒に話さない」「自分の失敗談を話さない」「校内を巡視する」「宿題を出す」「生徒をしかる」「生徒といっしょにいと楽しくない」「マンガや音楽について話題にしない」「教科書にそって授業をする」「小テストをする」など、生徒との距離をとり、教師役割を忠実に守る傾向である。生徒と友だちのようになってしまっただけでは、教育はできないと、毅然として、生徒が馴れ馴れしく近づかないよう心がけるタイプである。「生徒との距離大」（教師役割）と名付ける。以上のように、Ⅱ軸は、生徒との距離を近くにとるか遠くにとるかを仕分ける軸といえよう。

表Ⅶ-1 I軸のカテゴリーウエイト表

I軸 (0.4061)			
消極的 指 導	13C	生徒といっしょにいると楽しくない	2.18
	1F	自分の欠点や失敗談を話さない	1.85
	1E	自分の子どもの頃のことなどを生徒たちに話さない	1.64
	13E	学校にいるときは生き生きしない	1.56
	7F	自分のほうから生徒に声をかけない	1.51
	10I	欠席した生徒に電話しない	1.22
	7G	生徒と廊下や職員室で(立ち)話をしない	1.20
	7H	生徒といっしょに掃除をしない	1.19
	10B	小テストをしない	1.07
	10J	問題をおこした生徒の家庭を訪問しない	1.03
	1B	ノートのとり方を指導しない	1.02
	10H	バイク・オートバイの乗車について指導、注意しない	0.93
	10A	手作りの資料を使った授業をしない	0.90
	7A	授業中よくできた生徒をほめない	0.85
	10G	校内を巡視しない	0.77
	1D	生徒に人気のあるマンガや音楽について話題にしない	0.77
	7B	授業中、態度の悪い生徒をしからない	0.74
	10C	宿題を出さない	0.50
	1C	最近、話題になっているニュースを生徒たちに話さない	0.48
	1A	教科書にそって授業をする	0.19
	1A	教科書にそって授業をしない	-0.29
	10C	宿題を出す	-0.32
	1B	ノートのとり方を指導する	-0.49
	13C	生徒といっしょにいると楽しい	-0.50
	1E	自分の子どもの頃のことなどを生徒たちに話す	-0.54
	10B	小テストをする	-0.55
	13E	学校にいるときは生き生きする	-0.58
	1F	自分の欠点や失敗談を話す	-0.60
	10A	手作りの資料を使った授業をする	-0.69
	7H	生徒といっしょに掃除をする	-0.72
	7B	授業中、態度の悪い生徒をしかる	-0.76
	1D	生徒に人気のあるマンガや音楽について話題にする	-1.17
	7A	授業中よくできた生徒をほめる	-1.33
	7G	生徒と廊下や職員室で(立ち)話をする	-1.34
10I	欠席した生徒に電話する	-1.35	
7F	自分のほうから生徒に声をかける	-1.38	
1C	最近、話題になっているニュースを生徒たちに話す	-1.40	
10J	問題をおこした生徒の家庭を訪問する	-1.41	
10H	バイク・オートバイの乗車について指導、注意する	-1.73	
10G	校内を巡視する	-2.01	
積極的 指 導			

表Ⅶ-2 II軸のカテゴリーウエイト表

生徒との距離	II軸 (0.3033)	ウエイト
大	I E 自分の子どもの頃のことなどを生徒たちに話さない	3.15
	I F 自分の欠点や失敗談を話さない	2.98
	10 G 校内を巡視する	1.16
	10 C 宿題を出す	1.13
	7 B 授業中、態度の悪い生徒をしかる	1.10
	13 C 生徒といっしょにいと楽しくない	1.08
	I D 生徒に人気のあるマンガや音楽について話題にしない	1.06
	I A 教科書にそって授業をする	1.04
	10 B 小テストをする	0.96
	10 J 問題をおこした生徒の家庭を訪問する	0.92
	10 I 欠席した生徒に電話する	0.89
	I C 最近、話題になっているニュースを生徒たちに話さない	0.74
	I B ノートのとり方を指導する	0.73
	10 H バイク・オートバイの乗車について指導、注意する	0.72
	13 E 学校にいるときは生き生きしない	0.57
	7 A 授業中よくできた生徒をほめる	0.38
	7 H 生徒といっしょに掃除をする	0.28
	7 F 自分のほうから生徒に声をかけない	0.23
	7 G 生徒と廊下や職員室で（立ち）話をしない	0.08
	10 A 手作りの資料を使った授業をしない	0.04
	10 A 手作りの資料を使った授業をする	-0.03
	7 G 生徒と廊下や職員室で（立ち）話をする	-0.09
	13 E 学校にいるときは生き生きする	-0.21
	7 F 自分のほうから生徒に声をかける	-0.22
	7 A 授業中よくできた生徒をほめない	-0.24
	13 C 生徒といっしょにいと楽しい	-0.25
	10 H バイク・オートバイの乗車について指導、注意しない	-0.38
	10 G 校内を巡視しない	-0.44
	7 H 生徒といっしょに掃除をしない	-0.47
	10 J 問題をおこした生徒の家庭を訪問しない	-0.67
	10 I 欠席した生徒に電話しない	-0.81
	I F 自分の欠点や失敗談を話す	-0.96
	I E 自分の子どもの頃のことなどを生徒たちに話す	-1.03
	7 B 授業中、態度の悪い生徒をしからない	-1.06
	I B ノートのとり方を指導しない	-1.52
	I D 生徒に人気のあるマンガや音楽について話題にする	-1.62
	I A 教科書にそって授業をしない	-1.65
	10 C 宿題を出さない	-1.74
	10 B 小テストをしない	-1.88
	I C 最近、話題になっているニュースを生徒たちに話す	-2.15

生徒との距離 小

2. 教師の4類型

この教師のタイプを仕分けるのに有効なⅠ軸とⅡ軸は、独立の関係にあるので、それを交差させて、教師の指導の形態にもとづく、4タイプを作ったのが図Ⅶ-1である。

第1象限（消極的指導、生徒との距離大）
——生徒と気安く話したりせず、生徒に自分の子どもの頃のことや失敗談を話したりせず、教師としての威厳を保ち、生徒と距離をおいて、生徒を制御（コントロール）する。生徒から敬して遠ざけられるかもしれないが、それでよしとするタイプ。「生徒制御型」と名付ける。

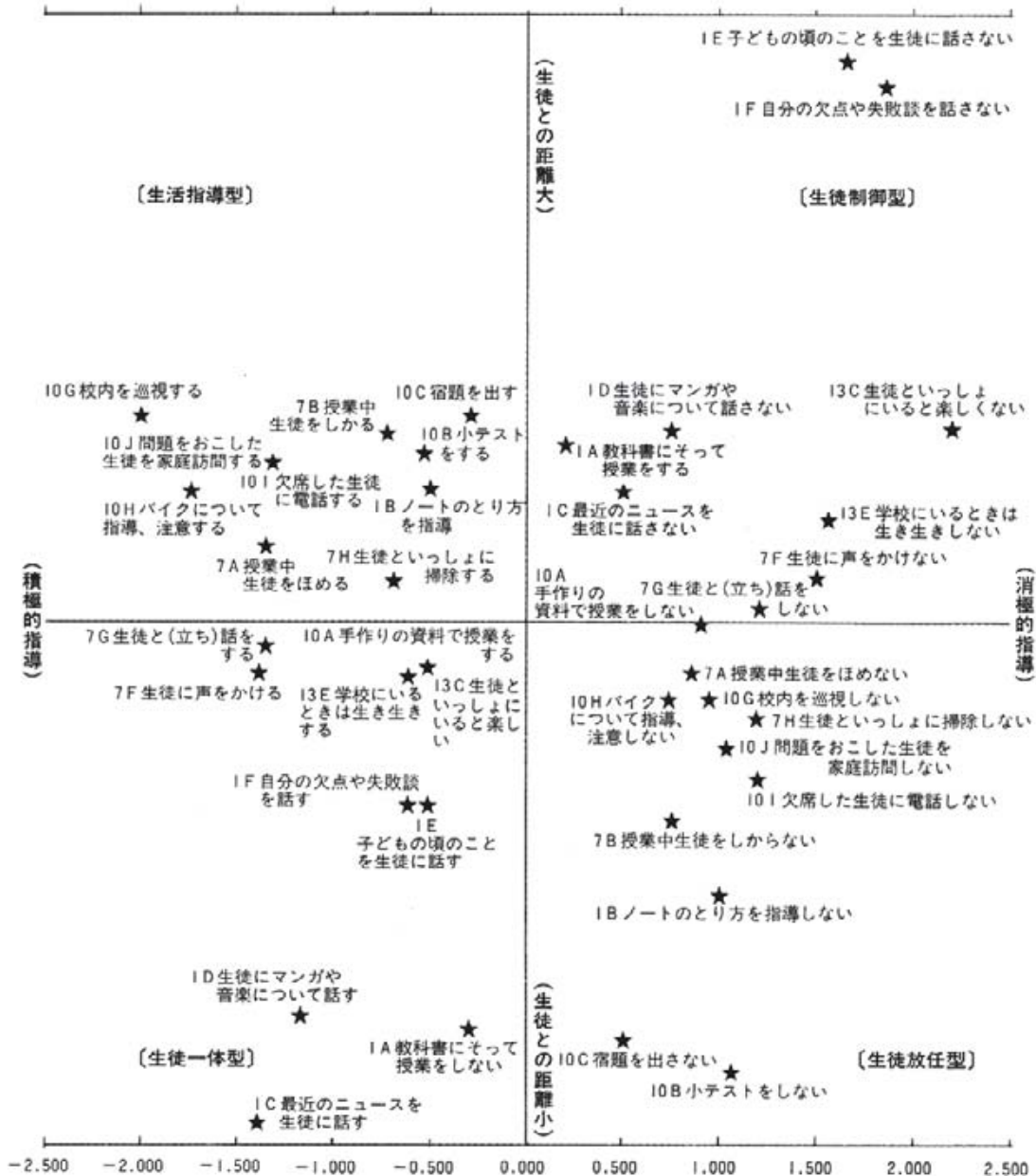
第2象限（積極的指導、生徒との距離大）
——宿題、小テスト、生徒への賞罰、家庭訪問、校内巡視、バイク指導、欠席した生徒に電話するなど、教科指導より生活指導に追われるタイプ。「生活指導型」と名付ける。

第3象限（積極的指導、生徒との距離小）
——最近のニュースを話す、生徒に声をかける、生徒と立ち話をする、手作りの資料を使った授業をするなど、生徒との距離が近く、生徒寄りの指導に熱心なタイプ。「生徒一体型」と名付ける。

第4象限（消極的指導、生徒との距離小）
——宿題を出さない、生徒をしからないと、生徒の自主性を尊重し、生徒への指導をあまりしないタイプ。「生徒放任型」と名付ける。

以上のように、教師の指導の傾向により、「生徒制御型」「生活指導型」「生徒一体型」「生徒放任型」の4タイプが区別される。教師一人ひとりはこの図のどこかに位置づく。そこで属性別平均を出して、それぞれのタイプを規定している要因を明らかにしよう。

図 VII-1 教師の指導の類型 (タイプ)

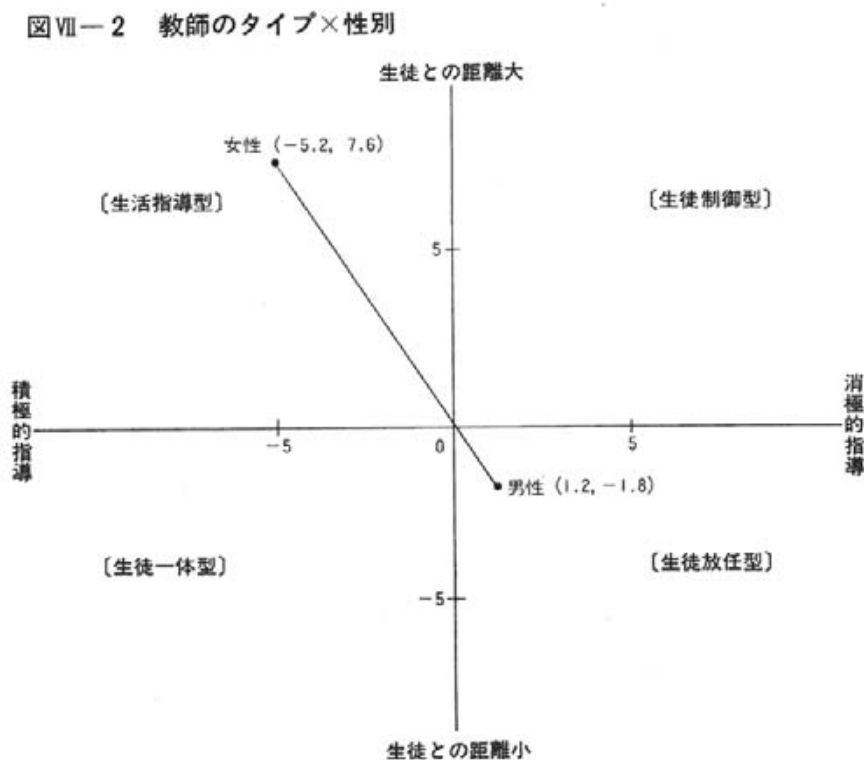


3. 教師類型の規定要因

(1) 性別

図VII-2は、男女別に平均点をプロットしたものである。男性は原点に近いが、やや消極的指導、生徒との距離小の「生徒放任型」の傾向がみられる。それに対して、全体の中では2割と少ない女性教師は、積極的指導、

生徒との距離大の「生活指導型」となっている。男性が主流の高校教師に、女性になるといことは、かなりの気構えが必要で、それが、指導熱心、教師役割へのコミットメント(生徒との距離大)としてあらわれるものと思われる。



(2) 年齢別

図Ⅶ-3は、年齢別に平均点をプロットしたものである。まず20歳代、30歳代前半は、積極的指導、生徒との距離近い「生徒一体型」であることがわかる。教育への情熱があり、年齢的にも近い生徒たちと、友だち感覚でつきあい、生徒に気楽に声をかけ、ニュース、マンガ、音楽も教材に取り入れ、生徒の興味をひこうと努力している。

それが30歳代後半、教職歴も10年を越えるようになると、教育熱は多少さめ、生徒との距離もだんだん遠くなっていく。生徒の自主性を尊重という名目で、「宿題を出さない」「生徒をしからない」と、生徒への指導は放任的

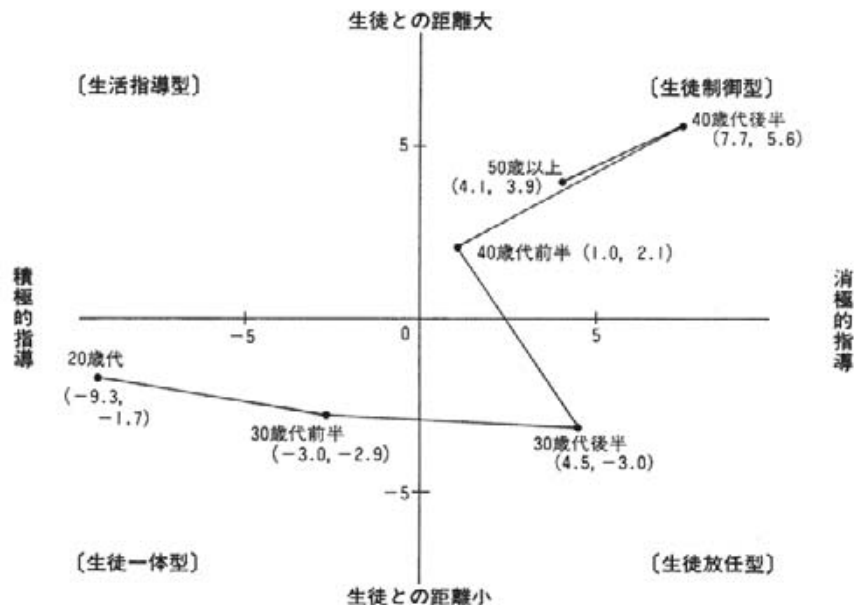
となっていく。

さらに40歳代前半になると、教育指導への熱心さは多少取りもどし、生徒との距離をとり、教師役割にコミットするようになる。40歳代後半は、生徒との距離を大きくとり、教師役割に徹する傾向はさらに強まる。「生徒制御型」教師がピークに達する。

50歳以上になると、多少、教育指導の熱心さを取りもどし、生徒との距離も縮めるが、平均としては「生徒制御型」に位置する。

以上のように、教師の指導タイプは、20代、30代前半の「生徒一体型」から、30代後半の「生徒放任型」を経て、40代以上では、「生徒制御型」へと移行する。50歳以上で多少積極的指導、生徒との距離小の方へ動く。

図Ⅶ-3 教師のタイプ×年齢別



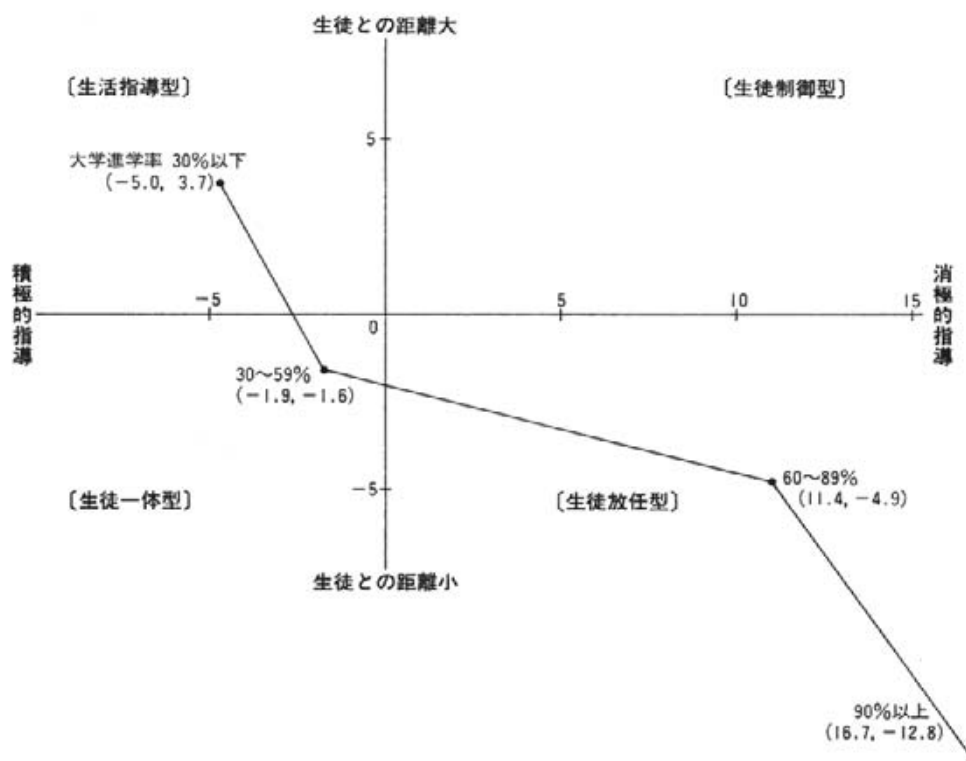
(3) 高校間格差

次に、進学校—非進学校といった高校間の格差によって、指導の型が違っているかを見てみよう。高校間格差の指標として、4年制大学進学率をとって、それぞれの学校類型ごとの平均をプロットしたのが図Ⅶ—4である。

それによると、4年制大学進学率3割以下の高校では積極的指導・生徒との距離大の「生活指導型」が多いことがわかる。それが、大学進学率の上昇とともに、右下の方向（消極的指導・生徒との距離小）へと変化していく。大学進学率3～6割の中堅の高校では、積極的指導・生徒との距離近いの「生徒一体型」が多く、大学進学率6割以上になると「生徒

放任型」になる。「生徒放任型」というのは、先にみたように、生徒の自主性を尊重し、教師からの教育指導は少ないタイプである。これは生徒を信頼しているともいえるし、教師は無責任で、生徒を放任しているともいえる。このように、進学校は、教師にとって、生徒の生活指導には手がかからず、その意味では楽な職場といえよう。非進学校の教師が「校内を巡視する」「バイクの指導をする」「欠席した生徒に電話する」「問題をおこした生徒の家庭を訪問する」ということを、あたり前のこととしてやっているのに対し、そのような生活指導を全然する必要がないのが、進学校の教師たちである。これらの指導に関して、学校間格差の大きいことが、高校教師の仕事の特徴である。

図Ⅶ—4 教師のタイプ×高校格差（4年制大学進学率による）



(4) 県別

図Ⅶ-5は、県別に平均点を出したものである。平均で見ると、千葉県は、積極的指導・生徒との距離大の「生活指導型」、東京都は、消極的指導・生徒との距離大の「生徒制御型」、神奈川県は、消極的指導・生徒との距離小の「生徒放任型」、埼玉県は、積極的指導・生徒との距離近いの「生徒一体型」の教師が多いという傾向がみられる。

埼玉と東京は対極に位置するが、埼玉に若い教師が多く、東京に年齢の高い教師が多いという年齢的なものも多少作用しているであろう。しかし同時に、それぞれの都県の教育風土も反映されていて興味深い。

以上、指導の型から、高校教師のタイプを分析してきた。

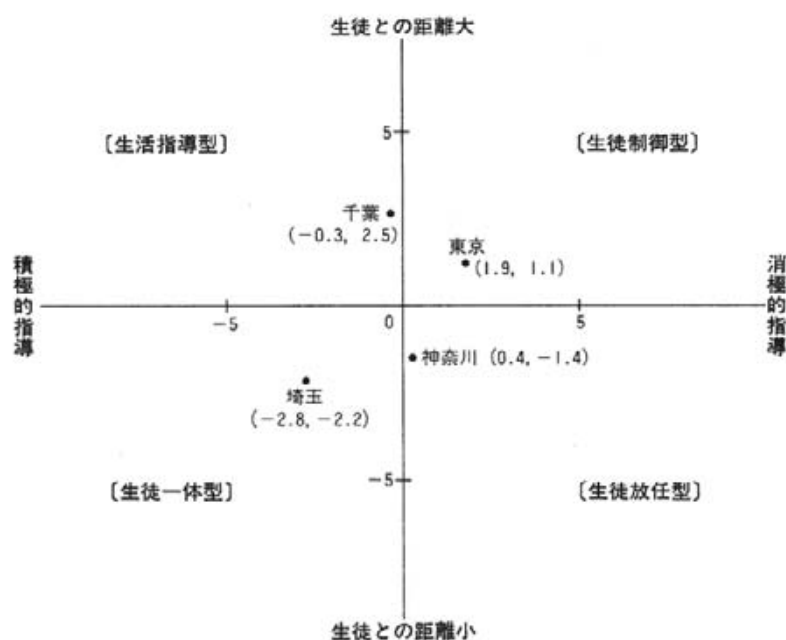
「生徒一体型」「生徒放任型」「生徒制御型」「生活指導型」という4タイプを見いだしたわけだが、どのタイプがいいとは一概に言え

ない。

第Ⅰ軸の積極的指導、消極的指導の軸も、指導を熱心にやるか熱心にやらないかだけでなく、その必要性にもよっている。大学進学率のそれほど高くない高校では、生徒に対し教師がこまめに生活指導をやっていかななくては、学校の秩序や平穏が保たれないであろうし、進学校では、教師がとりたてて指導らしいことをしなくても、生徒が自主的に規律を守り、問題行動がおこらないのである。

しかし、現状を肯定するだけでいいわけではない。若い教師の「生徒一体型」の中にも、どれだけ厳しさのある教育が行われているのか。40歳以上の教師は、「生徒制御型」が主になっているが、彼らは若い頃に持っていた、教育への情熱を持続しているのか。進学校の「生徒放任型」教師は、生徒の自主性尊重という名目のもとに、教育を放棄し、受験指導すら予備校にまかせていないか。このデータから再考すべき事柄は多々ある。

図Ⅶ-5 教師のタイプ×都県別



まとめ



教員名簿を母集団としたサンプリングを行ったためか、かなり全体の教員構成を反映しているデータが集まった（もともと、郵送法であるため、まじめで熱心な教師たちという限定はある）。例えば、男性教師が8割、女性教師が2割という比率であるが、ほぼ全国に近い比率である。また、前回の調査（'83年の全国調査）では、4年制大学の進学希望者が30%以下の学校の教師は4人に1人の割合であったが、今回は6割いる。前回はいわゆる進学校に勤務する教師が中心であったのに対して、今回は1都3県の教師たちが均等に含まれている。

全体的な観点から首都圏の高校教師の姿を描くと、次のようになる。

毎日の授業は、たまに最近話題になっているニュースを話すものの、あまり脱線はせず、教科書にそって進めている。かなり堅実な授業を行っている。そのため、校内では小テ

ストの採点や宿題の検査はあまりしなくて、もっぱら講義ノートを作ったり、手作りの資料づくりに時間を費やす。そして、時間があれば担当教科の専門書を読む。

一方、教科を中心とした授業を終えると休み時間や放課後、欠席した生徒に電話したり、問題をおこした生徒の家庭を訪問したりする教師たちもいる。

そうした2つのタイプの教師たちは、ともに授業中の態度が悪ければしかるし、生徒といっしょに掃除もする。そして、生徒からもあいさつをされ、自分からもすすんであいさつをしている。けっこう生徒とのコミュニケーションを大切にしている。

だからであろうか、生徒のことをよく知っている。授業中の態度や部活動はいうまでもなく、通学方法やどこの予備校へ通っているか、どんなアルバイトをしているか、もある程度知っている。

教師は生徒たちだけでなく、同僚ともよくつきあっている。9割以上の者が仲のよい同僚がいると答えている。そして、その同僚と職員室などで問題のある生徒のことや学校や教育のあり方、それから授業のしかたなど、教育のことをまじめに論じている。

このようにまじめでしかも生徒や同僚とのコミュニケーションを大切にする教師の日頃の方考え方や行動はどうなっているか。

「生徒といっしょにいと楽しい」(80%)、「学校にいるときは生き生きする」(71%)、「自分の教えている学校に誇りを持っている」(67%)、「教え子の結婚式やクラス会によく出席する」(54%)という。今の生徒や学校に生きがいを見だし、将来も学校でつくりあげた人間的な絆を大切にしよう、としている。

確かに、教育関係以外の趣味や習いごとをしている者もかなりいる(63%)。しかし、全体的にみると、学校社会の中で没頭するものを見いだしている、というのが事実に近いようだ。定年後もできるだけ教育関係の仕事にたずさわっていきたい、という者が4割もいる事実から、すこし学校社会という狭い世界に閉じこもりがちである、とも言える。

これだけを見ると、教師たちは日々生き生きし、ハッピーな生活を送っているようであるが、そうでもない。職業人につきまとう仕事上の悩みは、やはり高校教師にもある。

悩みのベスト3は、「雑用が多すぎる」(74%)、「研修の機会が少ない」(62%)、「生徒の

考えや行動についていけない」(39%)である。

「自信をもって進路指導ができない」とか「生徒が騒々しくて、授業を中断させられる」「校務分掌の仕事がうまくこなせない」とかの悩みは少ない。

教師の仕事に自信をもっているのか、悩みは仕事の多さと研修時間の少なさに集中している。

それでは、以上述べてきた教師たちは、自分の高校にはどんな資質をもった教師を必要としているのだろうか。

興味深いことに上位にくるのは「ホームルームの運営がうまい」(81%)、「問題をおこした生徒を諭すことができる」(80%)、「生徒からの進学相談に対して適切な指導ができる」(76%)などである。

専門性の高い授業や大学入試に役立つ授業、それに38度の熱があっても無理して学校へいくガンバリは、あまり求められていない。うまい授業や熱意よりも、集団の中の生徒をうまく捉え、そして行動を立ち直らせる、力量のほうが重んじられている。

とりわけ目にとまるのは、「問題行動をおこした生徒を諭すことができる」に続いて、「一声で生徒を静かにさせることができる」(58%)資質が上位にきている、ということである。ここから、従来の教師と一味ちがう新しい高校教師のタイプが浮かび上がってくる。

① あなたはふだん、授業中に、次のようなことをどれくらいなさっていますか。

	1 いつも そうして いる	2 ときどき そうして いる	3 ほとんど そうして いない	
A 教科書にそって授業をする	1	2	3	5
B ノートのとり方を指導する	1	2	3	6
C 最近、話題になっているニュースを生徒たちに話す	1	2	3	7
D 生徒に人気のあるマンガや音楽について話題にする	1	2	3	8
E 自分の子どもの頃のことなどを生徒たちに話す	1	2	3	9
F 自分の欠点や失敗談を話す	1	2	3	10

② あなたの授業のしかたにはモデルがありますか。

1. ある 2. ない

→ SQ（あると答えた方へ）それはだれですか。もっとも影響を受けた人1つに○をつけてください。

1. 自分の小・中学校時代の先生 2. 自分の高校時代の先生 3. 大学時代の先生

4. 先輩教師 5. 同僚教師 6. その他
(具体的に)

③ あなたが、自信をもって授業にのぞめるようになったのは、教員になって何年目からですか。

1. 1年やってみて 2. 2～3年 3. 4～5年
4. 6～9年 5. 10年以上 6. まだそう思えない

④ あなたがふだん **授業をする** ときの服装は、主にどのようなものですか。

A. 男の先生
のみお答え
ください。

1. ネクタイをする（スーツ、ブレザー、上着なし）
2. ノーネクタイ
3. スポーツ・ウエア（トレーナー、ジャージなど）
4. 白衣、作業服など
5. その他

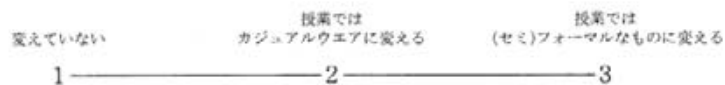
14

B. 女の先生
のみお答え
ください。

1. スーツやワンピースなど（セミ）フォーマルな服装
2. カーディガン、セーターなどのカジュアルな服装
3. スポーツ・ウエア（トレーナー、ジャージなど）
4. 白衣、作業服など
5. その他

15

⑤ あなたは、通勤のときと授業をするときで服装を変えていますか。



16

⑥ あなたは、今年度、クラス担任をなさっていますか。

1. 1年生の担任
2. 2年生の担任
3. 3年生の担任
4. 担任をしていない

17

SQ（クラス担任をしている方へ）担任しているクラスの生徒について、どの程度知っていますか。A～Jのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	1 3分の2以上の 生徒について 知っている	2 半分くらいの 生徒について 知っている	3 3分の1くらいの 生徒について 知っている	4 ほとんどの 生徒について 知らない
A 出身中学校	1	2	3	4
B 通学方法	1	2	3	4
C 成績	1	2	3	4
D 授業態度	1	2	3	4

18

19

20

21

	1 3分の2以上の 生徒について 知っている	2 半分くらいの 生徒について 知っている	3 3分の1くらいの 生徒について 知っている	4 ほとんどの 生徒について 知らない	
E 部活動の状況	1	2	3	4	22
F 趣味	1	2	3	4	23
G 通塾(予備校を含む)状況	1	2	3	4	24
H アルバイトの状況	1	2	3	4	26
I 友人や友人グループ	1	2	3	4	26
J 家族構成	1	2	3	4	27

⑦ あなたはふだん、生徒との間で次のようなことがありますか。

	1 よくある	2 ときどきある	3 ほとんどない	
A 授業中よくできた生徒をほめる	1	2	3	28
B 授業中、態度の悪い生徒をしかる	1	2	3	29
C 教科の内容について生徒から質問される	1	2	3	30
D 生徒から個人的な相談を受ける	1	2	3	31
E 教えている生徒からあいさつされる	1	2	3	32
F 自分のほうから生徒に声をかける	1	2	3	33
G 生徒と廊下や職員室で(立ち)話をする	1	2	3	34
H 生徒といっしょに掃除をする	1	2	3	35

⑧ あなたには、仲のよい同僚の先生がいますか。

1. はい 2. いいえ

36

→ SQ (はいと答えた方へ) その先生 (多数いる場合は特に親しい先生) についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------|------------|-----------|
| 1. 同性 | 2. 同年齢・同世代 | 3. 同一教科 |
| 4. 同一分掌 | 5. 同一学年担当 | 6. 同じ出身大学 |
| 7. 趣味が同じ | 8. 独身 | |

37 38 39

40 41 42

43 44

⑨ あなたは、同僚の先生と、次のようなことをすることができますか。

	1 よくある	2 ときどきある	3 ほとんどない	
A スポーツをする	1	2	3	45
B 囲碁、将棋、マージャンをする	1	2	3	46
C いっしょに食事に行く	1	2	3	47
D お酒を飲みに行く	1	2	3	48
E 教科の内容や教育技術について話す	1	2	3	49
F よくできる生徒のことについて話す	1	2	3	50
G 問題のある生徒のことについて話す	1	2	3	51
H 部活動やその指導のことについて話す	1	2	3	52
I 教師間の人間関係やうわさなどについて話す	1	2	3	53
J 学校や教育のあり方について話す	1	2	3	54
K 個人的なこと (結婚、家庭、子ども、住宅など) について話す	1	2	3	55

⑩ あなたは学校内などで、次のようなことをどれくらいやっていますか。

	1 よく する	2 かなり する	3 少し する	4 しない	
A 手作りの資料を使った授業をする	1	2	3	4	56
B 小テストをする	1	2	3	4	57
C 宿題を出す	1	2	3	4	58
D 講義ノートをつくる	1	2	3	4	59
E 担当教科の専門書を読む	1	2	3	4	60
F 雑誌や参考書の原稿を書く	1	2	3	4	61
G 校内を巡視する	1	2	3	4	62
H バイク・オートバイの乗車について指導、注意する	1	2	3	4	63
I 欠席した生徒に電話する	1	2	3	4	64
J 問題をおこした生徒の家庭を訪問する	1	2	3	4	65

⑪ あなたは、ふだん次のことを いつ やっていますか。A～Iのそれぞれについて、やっている主な時間（場所）1つに○をつけてください。

	1 始業前	2 あき 時間	3 昼休み	4 放課後	5 通勤中	6 自宅	7 その ような ことは しない	
A 新聞を読む	1	2	3	4	5	6	7	66
B 読書をする	1	2	3	4	5	6	7	67
C 教材の準備・作成	1	2	3	4	5	6	7	68
D テストの採点	1	2	3	4	5	6	7	69

	1 始業前	2 あき時間	3 長休み	4 放課後	5 通勤中	6 自宅	7 その ような ことは しない	
E 生徒の質問、相談を受ける	1	2	3	4	5	6	7	70
F 生徒との雑談	1	2	3	4	5	6	7	71
G 同僚との雑談	1	2	3	4	5	6	7	72
H お茶を飲みのんびりする	1	2	3	4	5	6	7	73
I 校務分掌の仕事をする	1	2	3	4	5	6	7	74

- 12 あなたからみて、あなたの高校の教師として、次のようなことは、どれくらい必要と思いますか。

	1 必要で ない	2 少し 必要	3 かなり 必要	4 とても 必要	
A 専門性の高い授業をする	1	2	3	4	75
B 大学入試に役立つ授業をする	1	2	3	4	76
C 生徒からの進学相談に対し適切な指導ができる	1	2	3	4	77
D ホームルームの運営がうまい	1	2	3	4	78
E 学級通信をこまめに出す	1	2	3	4	79
F 部活動を熱心に指導する	1	2	3	4	80
G 昼休みなど気軽に生徒と雑談する	1	2	3	4	81
H 生徒に人気のあるテレビをみたりマンガに目を通す	1	2	3	4	82

	1 必要で ない	2 少し 必要	3 かなり 必要	4 とても 必要	
I 一声で生徒を静かにさせることができる	1	2	3	4	83
J 問題をおこした生徒を諭すことができる	1	2	3	4	84
K 欠席した生徒の家に電話する	1	2	3	4	85
L 学年全体の調和を考えて行動する	1	2	3	4	86
M 校長や教頭の意見をきく	1	2	3	4	87
N 38度の熱があっても無理して学校へ行く	1	2	3	4	88
O 雑誌や参考書に執筆する	1	2	3	4	89

- 13 あなたの日頃の考え方や行動についておききします。A～Lのそれぞれに「はい」か「いいえ」でお答えください。

	1 はい	2 いいえ	
A 学校の中で引き受け手のない係や顧問でも引き受ける	1	2	90
B 定年までには管理職につきたいと思っている	1	2	91
C 生徒といっしょにいると楽しい	1	2	92
D 自分の教えている学校に誇りを持っている	1	2	93
E 学校にいるときは生き生きする	1	2	94
F 家庭には、学校の仕事を持ちこまない	1	2	95
G 教育関係以外の趣味や習いごとをしている	1	2	96

	1 はい	2 いいえ	
H 外部の研究グループや研修に積極的に参加する	1	2	97
I 地域の青少年活動やボランティア活動に積極的に参加する	1	2	98
J 教え子の結婚式やクラス会によく出席する	1	2	99
K 定年後、収入が得られる特技や技術をもっている	1	2	100
L 定年後もできるだけ教育関係の仕事にたずさわっていききたい	1	2	101

- 14 いま、あなたは次のような悩みをどのくらい感じていますか。A～Kのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	1 とても 感じて いる	2 かなり 感じて いる	3 あまり 感じて いない	4 まったく 感じて いない	
A 生徒の考えや行動についていけない	1	2	3	4	102
B 自分の専門的な力量に自信がない	1	2	3	4	103
C 生徒が騒々しくて、授業を中断させられる	1	2	3	4	104
D 生徒の学力レベルが低く教えがいがない	1	2	3	4	105
E 自信をもって生徒の進路指導ができない	1	2	3	4	106
F 保護者と連絡をとったりするのが苦痛である	1	2	3	4	107
G クラブ活動の指導が負担になっている	1	2	3	4	108

	1 とても 感じて いる	2 かなり 感じて いる	3 あまり 感じて いない	4 まったく 感じて いない	
H 校務分掌の仕事がうまくこなせない	1	2	3	4	109
I 雑用が多すぎる	1	2	3	4	110
J 研修の機会が少ない	1	2	3	4	111
K 教師という職業が自分に向いていない	1	2	3	4	112

- 15 あなたの1日の生活についておたずねします。勤務のある平日のほぼ平均的な日を想定してお答えください。

A 学校には、始業の何分くらい前に着きますか。

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 始業の5分くらい前 | 2. 10分～15分前 | 3. 20分～30分前 |
| 4. 40分～50分前 | 5. 60分以上前 | |

113

B 通勤時間はだいたいどのくらいですか。

- | | | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 15分以内 | 2. 30分くらい | 3. 45分くらい | 4. 1時間くらい |
| 5. 1時間半くらい | 6. 2時間くらい | 7. それ以上 | |

114

C 主な通勤の方法は何ですか。

- | | | | |
|-------|------------|--------|--------------|
| 1. 車 | 2. 電車、バス | 3. 自転車 | 4. バイク・オートバイ |
| 5. 徒歩 | 6. その他 () | | |

115

D 平日の退勤時刻(学校を出る時刻)は何時頃ですか。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 5時以前 | 2. 5時半頃 | 3. 6時頃 |
| 4. 7時頃 | 5. 8時頃 | 6. 9時以降 |

116

E 帰宅後、新聞を読んだり読書をしたりする時間は、平均してどのくらいですか。

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1. ほとんどしない | 2. 30分くらい | 3. 1時間くらい |
| 4. 2時間くらい | 5. 3時間以上 | |

117

F 帰宅後、テレビをみる時間は、平均してどのくらいですか。

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1. ほとんどみない | 2. 30分くらい | 3. 1時間くらい |
| 4. 2時間くらい | 5. 3時間以上 | |

118

G 帰宅後、教材研究・事務処理などの職務に関する仕事をする時間は、平均してどのくらいですか。

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1. ほとんどしない | 2. 30分くらい | 3. 1時間くらい |
| 4. 2時間くらい | 5. 3時間以上 | |

119

H 就寝時刻は平均して何時頃ですか。

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 9時以前 | 2. 9時半 | 3. 10時 | 4. 10時半 |
| 5. 11時 | 6. 11時半 | 7. 12時以降 | |

120

⑩ 最後に、あなたご自身のことや勤務校についておたずねいたします。

A 性別

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

121

B 年齢

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 25歳以下 | 2. 26～30歳 | 3. 31～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 | 7. 50～59歳 | 8. 60歳以上 |

122

C 担当教科（複数の場合は、主なもの1つ）

- | | | | | |
|----------|-------|-------------|-------|-------|
| 1. 英語 | 2. 国語 | 3. 数学 | 4. 社会 | 5. 理科 |
| 6. 芸術・家庭 | 7. 体育 | 8. その他（具体的に | ） | |

123

D 出身学校（大学）

- | | | |
|------------------|-----------------|------------------------------|
| 1. 教育系大学（国公立） | 2. 教育系大学（私立） | |
| 3. 教育系以外の大学（国公立） | 4. 教育系以外の大学（私立） | |
| 5. 大学院 | 6. 短期大学 | 7. その他（ ） |

124

E 教職の経験年数

- | | | | |
|-----------|-----------|----------|-----------|
| 1. 3年以下 | 2. 4～6年 | 3. 7～9年 | 4. 10～14年 |
| 5. 15～19年 | 6. 20～29年 | 7. 30年以上 | |

125

F これまで、次のような学校に勤務したことがありますか。現在の学校は含めなくて経験あるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 創設が戦前の高校（普通科） | 2. 創設が昭和24～50年の高校（普通科） |
| 3. 創設が昭和51年以降の高校（普通科） | 4. 職業高校 |
| 5. 定時制高校 | 6. 小・中学校 |

126 127

128 129

130 131

G 今の学校は赴任して何年目になりますか。

- | | | | |
|------------|------------|----------|------------|
| 1. 1～3年目 | 2. 4～6年目 | 3. 7～9年目 | 4. 10～15年目 |
| 5. 16～20年目 | 6. 21～29年目 | 7. 30年以上 | |

132

H 現在勤務している学校の所在地はどこですか。

- | | | | |
|------------------------------|---------|--------|--------|
| 1. 東京都 | 2. 神奈川県 | 3. 埼玉県 | 4. 千葉県 |
| 5. その他（ ） | | | |

133

I 現在勤務している学校は次のどれに当たりますか。

- | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|
| 1. 普通科 | 2. 工業科 | 3. 商業科 | 4. 農業科 |
| 5. 普通科と職業科の併設 | 6. 定時制 | 7. その他 | |

134

J 現在勤務している学校の生徒で、4年制大学進学者の割合はどれくらいですか。

1. 30%以下	2. 30%～59%くらい	3. 60～79%くらい
4. 80～89%くらい	5. 90%以上	6. よくわからない

135

K あなたの勤務校では、昭和63年度の共通一次受験者は、3年生のうちおよそどれくらいですか。

1. 2割以下	2. 3割くらい	3. 半数くらい	4. 7割くらい
5. ほぼ全員（9割以上）	6. よくわからない		

136

L それでは、前の学校の共通一次受験者は、どれくらいでしたか。

1. 2割以下	2. 3割くらい	3. 半数くらい	4. 7割くらい
5. ほぼ全員（9割以上）	6. 前任校なし		

137

M あなたが顧問をしているクラブの種類は何ですか。（主なもの1つ）

1. 運動系	2. 文化系	3. その他（ ）
4. 顧問はしていない		

138

N 現在の学校での係または役職は何でしょうか。あてはまる主なもの1つに○をつけてください。（2つ以上兼任している場合は主な方）

1. 校長・教頭	2. 教務	3. 総務	4. 進路指導
5. 生活指導	6. 厚生・保健	7. 学年	8. 教科
9. 係・役職は特になし			

139

O あなたは、結婚していますか。

1. 未婚	2. 既婚・子どもなし	3. 既婚・子どもあり	4. その他
-------	-------------	-------------	--------

140

以上です。ご協力ありがとうございました。

計1,186人
 数字は%。無回答・不明は省略してある
 (選択肢の詳細については、資料1を参照のこと)

質問・選択肢	全体	性別		年齢別						
		男性	女性	30歳以下	31～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	
① あなたはふだん、授業中に、次のようなことをどれくらいなさっていますか。(いつも+ときどきする)										
A. 教科書にそって授業をする	89.9	90.6	88.2	87.0	93.0	88.9	89.3	92.0	91.6	
B. ノートのとり方を指導する	66.3	64.7	73.5	64.3	63.5	67.9	63.9	68.7	70.7	
C. 最近のニュースを話す	88.0	88.7	86.2	88.5	90.5	86.4	86.9	87.2	89.3	
D. 人気のあるマンガや音楽を話題にする	39.4	38.8	42.3	57.2	47.4	38.7	33.8	28.2	23.6	
E. 自分の子どもの頃のことを話す	73.7	75.5	67.6	77.7	76.1	72.0	72.2	68.7	74.2	
F. 自分の欠点や失敗談を話す	75.4	77.0	69.1	78.4	78.7	78.2	73.9	66.3	73.7	
② あなたの授業のしかたにはモデルがありますか。										
1. ある	32.2	32.2	32.8	38.3	31.7	35.0	32.5	30.1	24.4	
あると答えた人SQ	1. 自分の小・中学校時代の先生	7.9	8.0	7.2	3.9	5.5	5.9	16.4	10.2	10.9
	2. 自分の高校時代の先生	37.9	37.5	39.8	39.8	39.7	42.4	34.5	30.6	34.5
	3. 大学時代の先生	8.8	10.4	2.4	3.9	4.1	8.2	9.1	20.4	14.5
	4. 先輩教師	24.3	22.3	31.3	27.2	23.3	29.4	20.0	14.3	25.5
	5. 同僚教師	7.9	7.7	8.4	8.7	4.1	7.1	9.1	16.3	3.6
	6. その他	12.9	13.4	10.8	16.5	23.3	5.9	10.9	8.2	9.1
2. ない	65.4	66.1	63.6	59.5	67.8	62.6	64.5	66.9	73.8	
③ あなたが自信をもって授業にのぞめるようになったのは、教員になって何年目からですか。										
1. 1年やってみて	6.1	6.9	2.8	7.1	5.7	6.6	6.5	5.5	4.9	
2. 2～3年	11.6	12.2	8.7	16.7	13.5	9.5	8.9	9.8	8.4	
3. 4～5年	21.4	22.0	19.4	20.8	19.1	28.0	21.3	20.9	18.2	
4. 6～9年	8.7	9.0	7.5	0.4	11.7	11.5	11.8	9.2	9.8	
5. 10年以上	13.6	13.7	13.4	0.0	3.0	8.2	20.1	30.1	30.2	
6. まだそう思えない	37.3	35.2	46.6	54.3	46.5	35.4	30.2	23.3	26.2	
④ あなたがふだん〔授業をする〕ときの服装は、主にどのようなものですか。										
A 男の先生	1. ネクタイをする(スーツなど)		55.4		54.3	49.2	43.4	57.7	64.4	66.5
	2. ノーネクタイ		21.3		19.7	24.6	34.2	21.1	11.1	14.0
	3. スポーツ・ウエア		10.4		16.5	12.0	12.2	9.9	6.7	4.5
	4. 白衣・作業服など		10.1		8.5	10.4	7.7	7.7	14.8	12.5
	5. その他		2.2		1.1	3.3	2.6	3.5	0.7	2.0
B 女の先生	1. スーツやワンピースなど			31.3	22.2	27.7	29.8	37.0	44.4	41.7
	2. カーディガン、セーターなど			57.0	67.9	51.1	57.4	44.4	40.7	50.0
	3. スポーツ・ウエアなど			4.8	2.5	10.6	4.3	7.4	3.7	0.0
	4. 白衣・作業服など			5.6	7.4	4.3	4.3	0.0	7.4	8.3
	5. その他			1.2	0.0	2.1	2.1	3.7	0.0	0.0
⑤ あなたは、通勤のときと授業のときで服装を変えていますか。										
1. 変えていない	80.5	77.9	92.5	88.1	84.8	86.0	82.2	69.3	69.3	
2. 授業ではカジュアルウエアに変える	9.0	0.6	2.4	6.3	5.7	9.9	8.3	13.5	12.0	
3. 授業では(セミ)フォーマルにする	7.7	8.9	3.2	4.8	7.4	2.9	7.7	11.7	14.2	
⑥ あなたは、今年度、クラス担任をなさっていますか。										
1. 1年生の担任	14.3	13.9	16.6	16.7	21.7	18.5	13.6	6.1	6.2	
2. 2年生の担任	15.3	15.6	14.2	19.7	19.6	14.8	13.6	14.1	8.4	
3. 3年生の担任	15.5	16.5	11.9	16.0	22.2	14.0	16.0	14.1	10.7	
4. 担任をしていない	54.2	53.7	56.9	47.6	36.5	52.7	56.8	64.4	73.3	

● 資料2 基礎集計表

質問・選択肢	全体	性別		年齢別						
		男性	女性	30歳以下	31～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	
クラス担任をしている生徒について。(3分の2以上の生徒について知っている)										
S Q クラスの生徒の把握について	A. 出身中学校	27.5	26.7	30.6	29.1	32.2	21.7	21.9	30.4	26.3
	B. 通学方法	47.9	47.3	50.3	56.7	49.3	40.9	35.6	46.4	52.6
	C. 成績	76.1	73.3	88.9	78.7	78.1	76.5	68.5	75.0	73.3
	D. 授業態度	81.7	80.0	80.9	85.8	80.8	80.0	78.1	80.4	82.5
	E. 部活動の状況	66.4	67.5	62.0	70.9	74.0	63.5	53.4	62.5	63.3
	F. 趣味	11.4	10.2	16.7	7.1	11.0	13.9	13.7	14.3	12.3
	G. 通塾(予備校を含む)状況	36.2	36.7	34.3	34.0	41.1	28.7	38.4	37.5	38.6
	H. アルバイトの状況	31.6	30.0	38.0	34.8	32.2	28.7	26.0	33.9	33.3
	I. 友人や友人グループ	38.4	35.8	50.0	47.5	41.1	34.8	32.9	30.4	31.6
	J. 家族構成	28.5	25.0	44.4	28.4	30.1	28.7	21.9	23.2	36.3
㉗ あなたはふだん、生徒との間で次のようなことがありますか。(よくある+ときどきある)										
	A. 授業中よくできた生徒をほめる	89.7	89.8	90.5	93.4	87.4	89.7	87.6	91.6	89.4
	B. 授業中、態度の悪い生徒をしかる	94.7	95.1	94.4	96.0	92.6	55.4	94.1	93.9	97.8
	C. 教科の内容で生徒から質問される	80.6	80.6	81.9	79.5	79.5	86.0	75.8	79.7	82.3
	D. 生徒から個人的な相談をうける	69.5	67.7	77.1	72.9	70.0	70.0	67.5	68.8	67.1
	E. 生徒からあいさつされる	96.8	97.1	96.8	95.5	95.6	97.9	97.6	98.1	98.2
	F. 自分のほうから生徒に声をかける	93.6	93.3	96.1	94.1	93.6	94.7	92.3	95.1	93.7
	G. 生徒と廊下や職員室で話をする	93.8	93.5	90.1	95.9	94.3	93.8	94.7	92.6	92.4
	H. 生徒といっしょに掃除をする	88.8	89.3	92.5	93.7	90.0	90.5	82.3	90.8	84.9
㉘ あなたは、仲のよい同僚の先生がいますか。										
S Q その先生について	1. はい	90.9	91.6	89.7	95.2	92.2	92.2	89.9	85.9	88.9
	1. 同性	68.7	67.7	73.1	77.7	72.2	68.8	66.4	61.4	60.0
	2. 同年齢・同世代	64.8	64.4	66.5	76.2	69.3	69.2	49.3	60.7	55.0
	3. 同一教科	47.0	48.6	40.1	45.7	47.6	47.8	46.7	48.6	45.5
	4. 同一分掌	22.2	23.9	15.0	21.9	24.1	23.2	24.3	19.3	19.5
	5. 同一学年担当	35.4	35.2	36.6	43.0	46.7	36.2	29.6	25.7	24.0
	6. 同じ出身大学	6.3	6.5	5.7	6.6	7.1	5.4	6.6	2.9	8.5
	7. 趣味が同じ	30.4	33.4	17.6	26.6	29.2	32.1	30.9	32.9	32.5
	8. 独身	11.8	10.9	15.9	29.7	15.6	7.6	5.3	1.4	1.5
2. いいえ	7.7	7.6	8.3	4.5	6.5	7.0	8.9	11.0	10.7	
㉙ あなたは同僚の先生と、次のようなことをすることがありますか。(よくある+ときどきある)										
	A. スポーツをする	62.1	66.2	46.6	71.8	65.7	64.1	62.8	58.2	48.0
	B. 囲碁、将棋、マージャンをする	22.8	28.0	1.6	14.4	19.6	24.7	25.4	27.6	29.3
	C. いっしょに食事をする	76.9	75.4	85.0	87.8	79.1	75.3	79.3	70.0	68.9
	D. お酒を飲みに行く	71.6	76.6	53.0	80.7	74.3	74.1	71.0	68.1	60.0
	E. 教科の内容や教育技術について話す	88.7	87.9	93.7	91.8	86.5	89.7	88.2	89.3	88.9
	F. よくできる生徒について話す	79.5	79.8	79.9	82.1	79.6	75.7	81.6	77.9	81.3
	G. 問題のある生徒について話す	95.2	95.1	97.2	95.9	96.1	94.3	97.7	95.1	95.1
	H. 部活動やその指導について話す	73.5	73.6	74.3	79.9	77.4	74.0	67.5	68.8	71.1
	I. 教師間の人間関係や噂について話す	69.9	69.9	71.5	78.0	71.7	72.8	75.2	58.3	60.9
	J. 学校や教育のあり方について話す	91.7	92.6	90.1	87.0	88.3	94.7	95.9	94.5	94.6
	K. 個人的なことについて話す	78.4	76.9	86.2	82.2	83.9	84.3	75.2	70.6	71.5

質問・選択肢	全体	性別		年齢別					
		男性	女性	30歳以下	31～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上
⑩ あなたは学校内などで、次のようなことをどれくらいやっていますか。(よくする＋かなりする)									
A. 手作りの資料をつかった授業をする	56.0	52.8	70.0	58.0	59.1	52.3	53.0	57.1	56.5
B. 小テストをする	23.2	20.3	36.3	26.0	20.0	22.2	19.6	27.6	23.6
C. 宿題を出す	15.7	13.5	25.3	11.2	13.9	14.4	16.0	21.5	20.0
D. 講義ノートをつくる	50.5	49.0	57.3	61.7	60.9	46.9	47.3	39.2	42.7
E. 担当教科の専門書を読む	59.1	60.0	56.5	52.8	52.3	62.6	61.6	59.5	63.6
F. 雑誌や参考書の原稿を書く	5.9	6.6	2.4	3.0	1.3	7.0	8.3	4.3	12.0
G. 校内を巡視する	26.9	28.2	21.7	27.9	25.6	19.7	28.4	28.3	32.9
H. バイクなどの乗車について指導する	33.5	36.9	20.1	43.5	53.9	26.7	34.7	31.3	31.1
I. 欠席した生徒に電話する	45.5	43.4	54.1	53.5	53.4	46.9	43.2	36.8	34.7
J. 問題をおこした生徒の家庭訪問	40.6	41.6	37.2	45.4	42.7	40.7	43.2	41.1	31.5
⑪ あなたからみて、あなたの高校の教師として、次のようなことは、どれくらい必要と思いますか。(必要でない＋少し必要)									
A. 専門性の高い授業をする	56.4	56.2	58.1	66.9	62.6	52.7	48.5	57.6	47.5
B. 大学入試に役立つ授業をする	60.7	60.8	61.7	71.3	60.4	62.2	58.0	58.2	51.6
C. 進学相談に適切な指導ができる	23.9	24.5	21.8	27.9	20.9	21.4	20.8	31.2	22.2
D. ホームルームの運営がうまい	18.3	18.4	18.6	13.0	19.6	19.7	19.0	20.2	20.4
E. 学級通信をこまめに出す	79.9	81.1	76.3	77.0	86.1	85.6	79.3	72.4	78.3
F. 部活動を熱心に指導する	41.3	40.3	45.8	33.1	39.1	49.0	44.4	43.5	41.3
G. 気軽に生徒と雑談する	44.9	45.5	43.9	37.2	47.8	46.9	50.9	41.1	48.0
H. 人気のあるテレビやマンガに目を通す	88.7	89.2	88.1	85.5	89.2	91.0	90.0	94.4	86.3
I. 一声で生徒を静かにできる	41.3	41.5	41.1	33.4	47.0	50.6	38.4	39.9	38.6
J. 問題をおこした生徒を諭せる	19.3	19.0	20.6	16.0	22.2	21.4	20.7	17.2	18.6
K. 欠席した生徒の家に電話する	38.0	38.9	35.2	30.1	41.4	41.5	37.9	38.0	40.9
L. 学年全体の調和を考えて行動する	24.3	24.6	23.7	21.2	29.1	27.9	31.4	21.5	16.0
M. 校長や教頭の意見をきく	70.9	68.8	81.1	70.2	76.1	77.0	68.0	68.7	64.5
N. 熱があっても学校へ行く	85.1	84.7	88.2	81.8	88.2	88.4	87.0	82.8	83.5
O. 雑誌や参考書に執筆する	95.2	95.4	96.4	95.9	97.2	94.7	96.5	97.5	92.0
⑫ あなたの日頃の考え方や行動についておきします。(はい)									
A. 引き受け手のない係なども引き受ける	53.4	56.4	42.3	48.7	53.0	49.4	56.8	61.3	56.9
B. 定年までには管理職につきたい	14.6	17.6	2.8	14.1	11.3	14.4	19.5	19.0	12.4
C. 生徒といっしょにいと楽しい	79.8	78.5	86.6	81.4	80.9	81.1	76.3	81.6	78.2
D. 自分の学校に誇りを持っている	66.5	67.1	65.2	65.8	63.9	65.8	60.4	68.1	75.1
E. 学校にいるときは生き生きする	71.0	69.6	77.9	71.0	69.6	70.8	67.5	71.2	76.4
F. 家庭に学校の仕事を持ちこまない	34.2	35.3	30.4	37.5	40.4	37.4	33.1	22.7	30.2
G. 趣味や習いごとをしている	63.1	63.9	61.3	66.2	63.5	67.1	55.0	62.6	62.2
H. 外部の研究グループや研修に参加	45.6	45.3	47.4	40.1	40.0	48.1	48.5	46.6	53.3
I. 青少年活動やボランティア活動に参加	12.9	13.5	10.7	12.6	7.0	14.8	14.8	14.7	14.7
J. 教え子の結婚式やクラス会に参加	54.4	58.5	37.9	32.7	46.5	53.5	58.6	71.2	75.1
K. 定年後、収入が得られる特技をもっている	21.8	21.2	24.5	18.2	17.0	23.0	20.7	22.7	29.8
L. 定年後も教育関係の仕事にたずさわりたい	39.8	42.5	29.2	39.4	28.3	41.2	39.1	40.5	51.6

質問・選択肢	全体	性別		年齢別						
		男性	女性	30歳以下	31～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	
14 あなたは次のような悩みをどのくらい感じていますか。(とても感じている+かなり感じている)										
A. 生徒の考えや行動についていけない	39.3	39.3	39.6	34.1	37.4	32.1	41.1	47.8	48.9	
B. 自分の専門的な力量に自信がない	25.8	22.4	40.3	43.5	35.6	23.0	18.8	16.5	10.7	
C. 騒々しくて、授業を中断させられる	16.0	14.9	21.0	23.8	14.4	11.1	16.6	14.1	15.2	
D. 学力レベルが低く教えがいがない	35.3	35.8	34.0	33.1	35.5	28.4	35.5	42.3	43.1	
E. 自信をもって生徒の進路指導ができない	18.3	16.5	26.5	30.5	17.4	13.5	16.0	13.5	15.2	
F. 保護者との連絡などが苦痛	11.1	10.3	14.2	14.8	16.0	11.5	11.3	5.5	4.9	
G. クラブ活動の指導が負担である	22.8	21.9	27.2	28.3	27.0	26.7	18.9	17.2	15.5	
H. 校務分掌の仕事がうまくこなせない	8.5	8.4	9.1	12.6	8.2	8.2	10.1	4.9	5.8	
I. 雑用が多すぎる	74.2	73.5	78.3	77.3	74.3	77.0	72.2	76.7	68.5	
J. 研修の機会が少ない	62.3	59.5	74.7	70.2	66.1	68.4	54.4	56.4	53.7	
K. 教師の職業が自分に向いていない	15.8	13.7	24.2	20.8	18.7	16.1	13.1	12.3	11.5	
15 あなたの1日の生活についておたずねします。(平日の平均的な日を想定してください)										
A 学校への到着	1. 始業の5分くらい前	10.6	8.9	17.8	8.6	13.5	14.0	15.4	8.0	4.9
	2. 10～15分前	29.3	26.6	41.1	24.9	35.7	28.0	36.1	28.8	24.9
	3. 20～30分前	34.9	36.6	28.5	37.2	25.7	35.4	29.6	42.3	40.9
	4. 40分以上前	24.7	27.7	12.7	29.3	25.2	22.7	18.3	20.9	28.9
B 通勤時間	1. 15分以内	16.7	16.3	19.0	14.1	21.3	16.5	18.3	16.0	14.7
	2. 30分くらい	25.5	25.1	27.7	24.2	28.3	31.3	24.9	19.0	24.0
	3. 45分くらい	18.0	17.8	19.4	19.7	19.6	14.8	20.7	20.9	14.2
	4. 1時間くらい	26.1	26.9	22.9	27.5	20.4	26.3	23.7	30.1	29.3
	5. 1時間半くらい	11.1	11.6	9.5	13.0	9.1	9.1	10.7	10.4	14.2
	6. 2時間以上	2.1	2.3	1.6	1.5	1.3	2.0	1.8	3.7	3.1
C 通勤方法	1. 車	52.8	54.3	47.4	59.9	62.6	58.0	50.9	45.4	36.4
	2. 電車・バス	36.9	36.2	41.1	33.5	27.0	31.7	38.5	46.0	50.2
	3. その他	9.8	9.5	11.5	6.7	10.4	10.3	12.7	8.5	12.9
D 通勤時刻	1. 5時以前	14.9	13.6	20.6	7.8	9.6	16.5	15.4	20.9	22.7
	2. 5時半頃	27.4	25.7	34.8	19.0	17.8	26.3	28.4	33.1	44.0
	3. 6時頃	29.2	29.0	30.4	23.4	33.5	32.1	37.3	29.4	23.1
	4. 7時頃	21.4	23.7	12.3	33.1	31.3	22.2	14.8	14.1	7.1
	5. 8時以降	6.4	7.5	2.0	16.4	7.9	2.9	4.2	2.5	1.8
E 新聞・読書時間	1. ほとんどしない	5.4	3.9	11.5	10.4	9.1	4.5	2.4	3.1	0.4
	2. 30分くらい	28.9	26.7	38.3	41.6	36.5	26.5	25.4	18.4	19.6
	3. 1時間くらい	43.1	44.7	37.2	37.2	43.5	27.3	42.6	49.7	41.3
	4. 2時間くらい	19.1	20.9	12.3	9.7	10.0	19.3	26.6	23.3	31.1
	5. 3時間以上	3.2	3.8	0.8	1.1	0.9	2.5	3.0	5.5	7.6
F テレビの視聴時間	1. ほとんどみない	13.6	9.5	31.2	14.1	12.1	19.3	14.8	14.7	7.1
	2. 30分くらい	20.2	18.7	27.3	22.3	20.0	4.4	24.9	23.9	18.7
	3. 1時間くらい	42.2	45.0	28.9	40.9	43.5	44.0	37.3	41.1	46.2
	4. 2時間くらい	20.9	23.4	11.1	20.8	20.9	20.9	20.7	18.4	24.0
	5. 3時間以上	2.6	2.9	1.6	1.9	3.5	2.1	2.4	1.8	4.0

質問・選択肢		全体	性 別		年 齢 別					
			男性	女性	30歳以下	31～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上
G 帰宅後の 仕事時間	1. ほとんどしない	32.6	33.0	31.6	43.1	37.8	35.0	23.1	21.5	27.6
	2. 30分くらい	19.6	19.0	22.5	17.5	23.8	17.3	21.9	16.6	21.3
	3. 1時間くらい	34.2	34.8	31.6	27.1	28.7	33.3	37.9	46.6	38.2
	4. 2時間くらい	11.3	11.4	11.5	9.7	8.7	12.8	15.4	12.3	11.1
	5. 3時間以上	1.8	1.7	2.0	2.2	0.9	1.6	1.8	2.5	1.8
H 就業時刻	1. 9時以前	0.5	0.6	0.4	0.0	0.4	0.4	0.6	0.0	1.8
	2. 9時半	1.5	1.8	0.4	0.4	1.3	2.5	0.6	1.2	3.1
	3. 10時	8.0	8.4	6.3	5.6	5.7	11.1	4.7	8.0	12.4
	4. 10時半	11.3	10.6	13.8	8.2	9.1	13.2	11.2	16.0	12.0
	5. 11時	27.2	27.2	27.7	23.0	32.2	25.5	27.2	30.1	27.6
	6. 11時半	28.3	29.1	25.7	30.5	24.8	29.2	29.6	28.2	28.0
	7. 12時以降	22.8	22.2	25.7	32.0	26.5	18.1	26.0	16.6	15.1
16 それではあなた自身のことについておきします。										
A 性別	1. 男	80.1	100.0		69.9	79.6	80.7	84.0	82.8	88.9
	2. 女	19.4		100.0	30.1	20.4	19.3	16.0	16.6	10.7
B 年齢	1. 30歳以下	20.6	18.0	32.0	100.0					
	2. 31～34歳	17.6	17.5	18.6		100.0				
	3. 35～39歳	18.6	18.8	18.6			100.0			
	4. 40～44歳	13.0	13.6	10.7				100.0		
	5. 45～49歳	12.5	12.9	10.7					100.0	
	6. 50歳以上	17.3	19.1	9.5						100.0
C 担当教科	1. 英語	14.3	12.3	22.9	19.0	13.9	10.3	12.4	19.0	11.6
	2. 国語	15.4	12.8	26.5	20.4	13.0	16.5	16.6	7.4	16.0
	3. 数学	11.8	13.7	4.3	10.4	10.0	13.2	14.8	12.9	11.1
	4. 社会	14.3	16.2	6.3	12.3	17.4	14.8	16.0	13.5	12.4
	5. 理科	13.3	15.1	5.9	10.8	16.5	16.0	9.5	10.4	15.1
	6. 芸術・家庭	7.6	4.1	22.1	7.8	7.4	7.8	6.5	5.5	9.8
	7. 体育	11.0	12.1	7.1	10.8	14.8	11.1	13.0	9.8	7.1
	8. その他	11.9	13.6	4.7	8.6	6.5	10.3	11.2	21.5	16.9
D 出身大学	1. 教育系大学（国公立）	18.8	18.1	21.7	11.5	8.7	14.8	21.3	30.1	32.4
	2. 教育系大学（私立）	8.4	8.7	7.1	8.2	9.1	8.6	8.9	9.2	6.7
	3. 教育系以外の大学（国公立）	19.2	18.6	22.5	13.0	25.7	22.6	14.2	21.5	19.1
	4. 教育系以外の大学（私立）	42.8	44.0	38.3	60.6	47.0	38.7	40.8	30.7	32.4
	5. 大学院	7.8	8.0	7.1	3.7	9.1	14.0	11.8	4.3	4.4
	6. 短期大学	0.4	0.2	1.2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.6	0.9
	7. その他	1.7	1.7	1.6	1.9	0.4	0.8	1.8	3.1	2.7
E 経験年数	1. 3年以下	4.9	4.1	8.3	21.9	1.7	0.4	0.0	0.0	0.0
	2. 4～6年	13.0	10.9	21.7	48.0	13.0	2.9	0.6	0.6	0.0
	3. 7～9年	15.8	15.7	16.6	29.7	42.2	9.1	3.6	0.6	0.0
	4. 10～14年	21.5	21.2	23.3	0.4	43.0	61.7	15.4	0.6	1.8
	5. 15～19年	13.4	14.1	11.1	0.0	0.0	25.1	56.8	9.2	1.3
	6. 20～29年	22.5	24.2	15.8	0.0	0.0	0.4	23.1	88.3	48.9
	7. 30年以上	8.3	9.4	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	47.1

● 資料2 基礎集計表

	質問・選択肢	全体	性別		年齢別					
			男性	女性	30歳以下	31～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上
F 勤務経験	1. 創設が戦前の高校（普通科）	23.9	25.0	20.2	6.7	13.9	15.2	29.6	42.9	46.7
	2. 昭和24～50年の高校（普通科）	24.6	25.6	20.6	9.7	16.5	28.4	30.8	32.5	36.9
	3. 昭和51年以降の高校（普通科）	27.1	26.7	29.6	27.5	37.0	34.2	26.0	19.6	16.0
	4. 職業高校	30.3	32.5	21.3	15.2	17.8	29.2	38.5	42.9	48.0
	5. 定時制高校	15.6	17.1	9.1	7.8	6.1	9.1	20.7	17.8	36.0
	6. 小・中学校	12.8	12.2	14.6	6.3	9.6	10.3	11.2	8.0	31.1
G 現在校勤務年数	1. 1～3年目	31.3	30.5	35.2	50.9	37.4	26.7	21.3	28.2	16.9
	2. 4～6年目	30.8	29.7	36.4	37.9	35.2	35.8	29.6	25.2	17.8
	3. 7～9年目	16.7	17.5	13.8	11.2	17.8	19.8	22.5	16.6	15.1
	4. 10～15年目	13.9	14.6	11.1		9.6	16.0	21.9	22.1	20.9
	5. 16～20年目	2.7	2.8	1.6			1.2	3.0	3.1	9.8
	6. 21～29年目	3.3	3.9	0.4				1.2	4.9	14.2
	7. 30年以上	0.7	0.6	1.2						4.0
H 学校所在地	1. 東京都	27.0	26.7	29.2	18.2	19.1	24.3	27.8	31.2	45.8
	2. 神奈川県	27.9	27.5	30.0	35.3	28.2	30.5	30.2	25.2	16.0
	3. 埼玉県	20.8	20.7	22.1	21.9	27.0	23.5	14.2	17.8	18.2
	4. 千葉県	23.3	24.4	18.6	23.8	25.7	21.4	26.6	25.2	19.1
	5. その他	0.3	0.4	0.0	0.7	0.0	0.0	0.6	0.6	0.0
I 勤務校の学科	1. 普通科	73.8	72.2	81.4	75.1	77.0	77.4	76.9	68.1	68.4
	2. 工業科	10.8	12.8	2.8	13.0	7.4	9.1	6.5	19.6	10.2
	3. 商業科	5.4	5.1	7.1	5.2	5.2	4.9	7.1	4.9	5.8
	4. 農業科	2.1	2.2	1.2	1.9	0.9	1.2	1.8	1.8	4.9
	5. 普通科と職業科の併設	4.5	4.6	4.3	2.2	4.8	4.5	5.9	3.1	7.1
	6. 定時制	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	7. その他	2.6	2.5	3.2	2.6	4.8	2.5	1.2	2.5	1.8
J 4年制大学進学割合	1. 30%以下	60.6	60.3	63.2	78.4	63.9	56.0	57.4	55.8	48.0
	2. 30～59%くらい	13.6	13.9	13.0	6.7	16.5	19.8	14.2	13.5	12.4
	3. 60～89%くらい	13.1	13.6	11.5	7.8	10.4	13.6	12.4	17.2	19.6
	4. 90%以上	10.3	10.1	10.7	4.5	8.3	9.9	13.0	11.7	16.9
	5. よくわからない	1.4	1.4	1.2	2.6	0.4	0.4	1.8	1.2	1.8
K 共通一次受験者	1. 2割以下	74.4	73.8	78.7	86.2	83.0	75.3	71.6	68.7	58.2
	2. 3割くらい	9.4	10.2	6.3	1.5	8.7	10.7	8.9	14.1	15.6
	3. 半数くらい	4.6	4.7	4.3	2.6	2.2	4.1	7.1	4.3	8.4
	4. 7割くらい	4.0	3.6	5.1	1.9	3.5	2.5	5.9	4.9	6.2
	5. ほぼ全員（9割以上）	1.1	1.1	0.4	0.0	0.0	2.5	1.2	1.2	1.8
	6. よくわからない	4.3	4.3	4.3	5.9	1.7	4.1	2.4	5.5	5.8
M クラブ顧問	1. 運動系	53.1	59.1	29.2	65.4	60.9	52.3	53.3	49.7	34.7
	2. 文化系	42.7	36.6	68.4	32.7	36.5	46.1	42.6	46.6	55.1
	3. その他	1.4	1.4	1.2	1.1	1.3	0.4	0.6	1.8	3.1
	4. 顧問はしていない	2.1	2.4	1.2	0.7	1.3	0.8	3.0	1.8	5.8

質問・選択肢		全体	性別		年齢別					
			男性	女性	30歳以下	31～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上
N 学校での係・役職	1. 校長・教頭	0.3	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
	2. 教務	16.9	16.9	17.4	16.0	15.7	17.7	20.7	18.4	15.1
	3. 総務	8.0	8.2	6.7	8.2	6.1	4.1	7.1	9.2	13.3
	4. 進路指導	12.7	13.0	11.9	11.9	12.6	14.8	10.1	11.7	14.7
	5. 生活指導	19.3	19.8	17.4	24.9	20.4	23.0	17.8	12.9	13.8
	6. 厚生・保健	8.0	6.3	15.0	9.3	7.4	6.6	8.9	8.6	7.6
	7. 学年	20.8	20.9	20.6	19.3	24.3	18.1	23.1	25.2	17.3
	8. 教科	5.5	5.9	4.0	3.0	6.5	6.2	4.7	6.7	6.2
	9. 係・役職は特になし	3.8	3.8	3.6	4.1	3.0	4.5	3.0	4.3	3.6
O 結婚	1. 未婚	22.5	21.6	26.9	61.0	31.3	13.6	7.7	2.5	3.1
	2. 既婚・子どもなし	12.6	11.7	16.2	21.9	22.2	12.3	4.1	3.7	4.9
	3. 既婚・子どもあり	63.7	65.7	56.1	17.1	46.1	72.4	86.4	93.9	90.2
	4. その他	0.5	0.5	0.8	0.0	0.4	1.2	0.6	0.0	0.9